

平成 22 年 12 月 21 日

各位

沢井製薬株式会社

患者さん・薬剤師 対象調査報告
 ～患者さん・薬剤師ともに国の医療費増大に対する共通の危機感
 ジェネリック医薬品の積極活用は増加傾向～

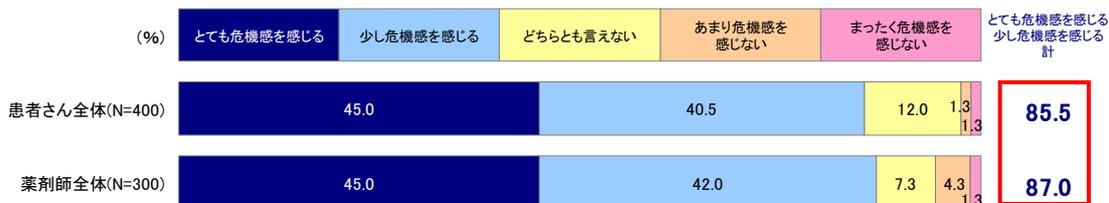
沢井製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：澤井光郎）は、本年 11 月 5 日から 8 日の 4 日間、過去 3 ヶ月以内に薬を処方・調剤された患者さん 400 名、及び全国の薬剤師の方々 300 名を対象にジェネリック医薬品に対する意識調査を実施いたしました。

■ 患者さん・薬剤師ともに「医療費増大に危機感を感じる」が約 85%【グラフ 1】

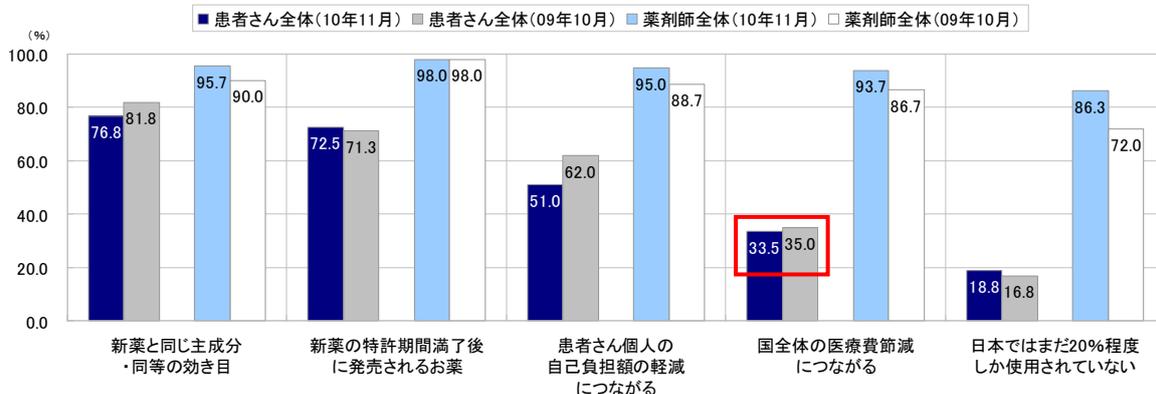
患者さんのジェネリック医薬品名称認知率は前年と同じく 98.5%と高く、ジェネリック医薬品について調べた経験がある患者さんは 62.9%（前年：46.0%）と、昨年にも増して高い関心度が伺えました。しかし、ジェネリック医薬品の特徴認知【グラフ 2】については、「国全体の医療費節減につながる」ことを知っている患者さんは 33.5%（前年：35.0%）と、医療費増大への危機感とジェネリック医薬品の内容理解度には乖離があることがわかりました。

一方、薬剤師のジェネリック医薬品特徴認知【グラフ 2】は「医療費節減につながる」が 93.7%（前年：86.7%）、「日本ではまだ 20%程度しか使用されていない」が 86.3%（前年：72.0%）と高水準となっており、医療費増大への危機感が高い人ほどジェネリック医薬品の活用に積極的であることがわかりました【グラフ 3】。

【グラフ 1】 国の医療費増大への危機感（患者さん・薬剤師対象）



【グラフ 2】 ジェネリック医薬品の特徴認知（患者さん・薬剤師対象）



◆お問い合わせ先◆

沢井製薬株式会社 戦略企画部 広報グループ

E-mail : koho@sawai.co.jp

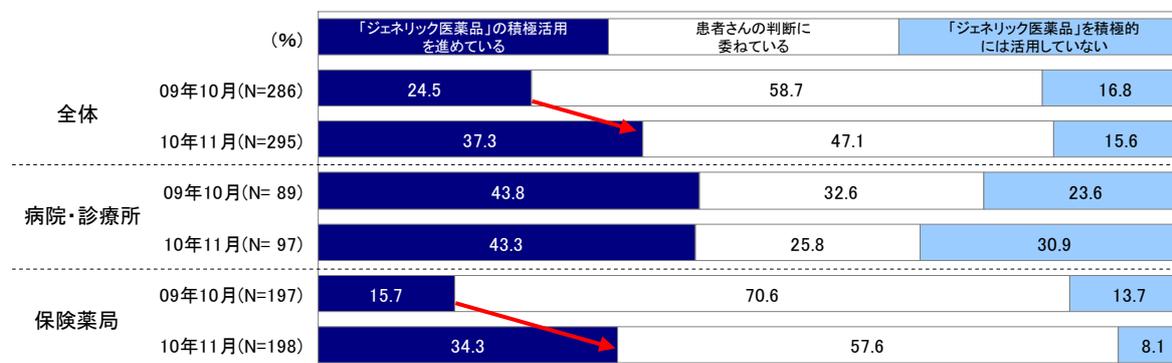
【グラフ 3】 「ジェネリック医薬品の活用方針」 × 「医療費増大への危機感」 (薬剤師対象)



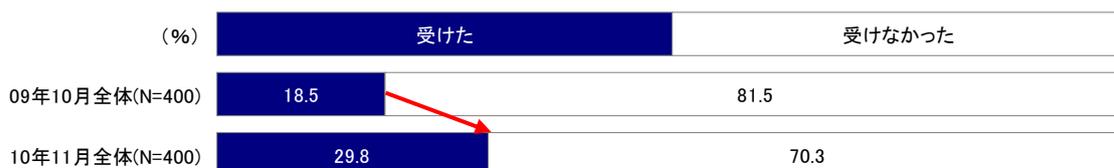
■ 保険薬局でのジェネリック医薬品積極活用派が倍増、34.3%に

「ジェネリック医薬品の積極活用を進めている」が薬剤師全体で 37.3% (前年：24.5%)、特に保険薬局では 34.3% (前年：15.7%) と、「患者さんの判断に委ねている」層が積極派へ転進する動きが見られました【グラフ 4】。しかし、患者さんがお薬をもらう際、「薬剤師からジェネリック医薬品について説明を受けた」という人は 29.8% (前年：18.5%) と増加しましたが、依然約 7 割の患者さんが「説明を受けなかった」と回答しています【グラフ 5】。

【グラフ 4】 ジェネリック医薬品の活用方針 (薬剤師対象)



【グラフ 5】 薬剤師からの説明の有無 (患者さん対象)



当社はこれからも“なによりも患者さんのために”を企業理念に、患者さんのジェネリック医薬品への理解促進を図ることができるよう PR 活動に取り組み、医療関係者の方々へはより安心して、処方・調剤いただけるよう情報提供活動に努めてまいります。

※調査はインターネットにて実施いたしました。(実査機関：株式会社マクロミル)

※その他の結果に関しては、次ページ以降の詳細資料をご覧ください。

◆お問い合わせ先◆

沢井製薬株式会社 戦略企画部 広報グループ

E-mail : koho@sawai.co.jp



【ジェネリック医薬品】
一般患者におけるジェネリックへの意識
2010年11月 患者調査

2010年12月21日

沢井製薬株式会社

ジェネリック医薬品に関する意識、処方・調剤状況を定点観測として時系列で比較する。
また、2010年4月に実施された診療報酬改定を受けて、
ジェネリック医薬品への接触頻度の変化や、市場環境の変化を探る。

患者調査

調査対象： 過去3ヶ月以内に医療機関で自分のために薬を処方・調剤してもらった30～60代男女(歯科・眼科・小児科での処方・調剤は除く)

対象地区： 首都圏1都3県、関西2府4県

サンプル構成： 計400サンプル

調査項目： ・「ジェネリック医薬品」の名称認知・内容認知
・「ジェネリック医薬品」の認知経路
・「ジェネリック医薬品」の処方/調剤依頼傾向

など

調査手法： インターネット調査

調査期間： 2010年11月5日(金)～7日(日)

割付： 実際の市場状況に近づけるため、各年代を実際に「薬を服用している人」の構成比に近くなるように400サンプルの割付を行った

【対象者条件】

「過去3ヶ月以内に」、「自分の病気や怪我の治療(診療)」のために「病院(小児科・眼科・歯科を除く)」に行き、薬を処方・調剤された人

【内訳】

	N	%
全体	400	
男性	196	49.0%
女性	204	51.0%

	N	%
男性30代	45	11.3%
男性40代	42	10.5%
男性50代	47	11.8%
男性60代	62	15.5%
女性30代	54	13.5%
女性40代	41	10.3%
女性50代	48	12.0%
女性60代	61	15.3%

	N	%
東京都	116	29.0%
神奈川県	82	20.5%
埼玉県	41	10.3%
千葉県	41	10.3%
首都圏計	280	70.0%
大阪府	58	14.5%
兵庫県	30	7.5%
京都府	12	3.0%
奈良県	8	2.0%
滋賀県	7	1.8%
和歌山県	5	1.3%
関西圏計	120	30.0%

【調査内のジェネリック医薬品理解レベルに関して】

■ 高レベル: Q8で下記6項目すべてを認知している層

- ・お医者さんから処方される薬(医療用医薬品)
- ・新薬の特許期間満了後に発売される薬
- ・新薬と同じ主成分・同等の効き目
- ・薬価は新薬の2~7割である
- ・国全体の医療費節減につながる
- ・日本ではまだ約20%程度しか使用されていない

■ 中レベル: Q8で下記4項目すべてを認知している層

- ・お医者さんから処方される薬(医療用医薬品)
- ・新薬の特許期間満了後に発売される薬
- ・新薬と同じ主成分・同等の効き目
- ・薬価は新薬の2~7割である

■ 低レベル: 高・中レベル以外の層

- Q1. 「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」をご存知ですか。(SA)
- Q2. (Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ)
「ジェネリック医薬品」を、何で見聞きされますか。あてはまるものを全てお選びください。(MA)
- Q3. 「病気のこと」「薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について、あなたは調べたことがありますか。(MA)
- Q4. 「病気のこと」「薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について、あなたは普段どのようにして調べていますか。(MA)
- Q5. (Q3で「ジェネリック医薬品について調べたことがある」とお答えの方へ)
「ジェネリック医薬品」について、どのようなことを調べましたか。あてはまるものを全てお選びください。(MA)
- Q6. これまで、「ジェネリック医薬品」のことを誰かと話題にされたことはありますか。(SA)
- Q7. (Q6で「話題にしたことがある」とお答えの方へ)
「ジェネリック医薬品」を話題にされた際、どのようなことが話題になりましたか。
どのようなことでも構いませんので、できるだけ詳しくお答え下さい。(FA)
- Q8. 「ジェネリック医薬品」には次のような特徴があります。ご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)
- Q9. 「ジェネリック医薬品」について、もっと具体的に知りたいことはなんでしょうか。あてはまるものを全てお選びください。(MA)
- Q10. このような「ジェネリック医薬品」を医師や薬剤師に処方・調剤して欲しいと思いますか。(SA)
- Q11. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と頼んだことはありますか。(SA)

Q12. (Q11で「頼んだことがない」とお答えの方へ)

「ジェネリック医薬品」の処方・調剤を頼まない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

Q13. 今後機会があれば、医師や薬剤師に「ジェネリック医薬品」のことをたずねてみたいと思いますか。(SA)

Q14. 以下の説明文を読んでお答えください

病院・薬局で薬を処方してもらう際、処方せんに医師のサインがなければ(※)、患者さんは薬剤師と相談して「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」に変更することができます。

※「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」に変更が不可の場合のみ医師がサインをします。

あなたはこのことをご存知でしたか。(SA)

Q15. 2008年4月以降に、医療機関で薬をもらう際、薬剤師から「ジェネリック医薬品」についての説明を受けましたか。(SA)

Q16. 最近新聞やテレビなどで「国の医療費増大」による皆保険制度の是非や、企業健保組合の赤字などの問題がクローズアップされていますが、あなたはこの「国の医療費増大」の問題について危機感を感じますか。(SA)

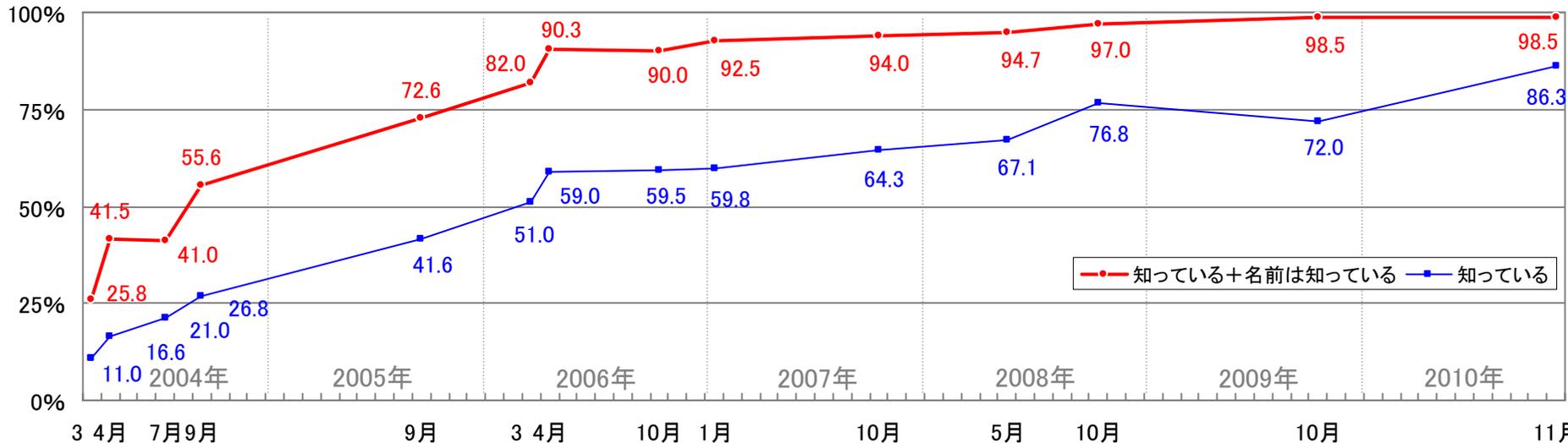
※SA：単一回答
※MA：複数回答
※FA：自由回答

「ジェネリック医薬品」の認知状況

※08年10月以降、対象者の割付が変更されているため、08年05月以前の時系列比較は参考

Q1.「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」をご存知ですか。(SA)

認知計(「知っている」+「名前は知っている」)は前回より、増減なしの98.5%。
 「知っている」は前回より14.3ptアップの、86.3%で過去最高となった。



	(%)	N	知っている											
			05年		06年		07年		08年		09年		10年	
			9月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月		
全体	全体	400	41.6	51.0	59.0	59.5	59.8	64.3	67.1	76.8	72.0	86.3		
性年代	男性30代	45	51.9	52.0	56.0	56.0	68.0	68.0	71.2	81.6	79.5	80.0		
	男性40代	42	38.5	50.0	60.0	62.0	70.0	62.0	65.4	80.6	75.0	92.9		
	男性50代	47	50.0	46.0	62.0	68.0	74.0	60.0	78.8	76.0	83.3	89.4		
	男性60代	62	50.0	64.0	62.0	54.0	56.0	64.0	69.2	86.0	78.7	90.3		
	女性30代	54	23.1	52.0	52.0	62.0	50.0	72.0	61.5	71.9	62.3	83.3		
	女性40代	41	34.6	44.0	52.0	56.0	62.0	64.0	61.5	68.2	67.4	78.0		
女性50代	48	50.0	60.0	56.0	56.0	50.0	52.0	57.7	75.4	63.3	91.7			
女性60代	61	34.6	40.0	72.0	62.0	48.0	72.0	71.2	75.4	67.7	83.6			
通院区分	定期的通院	298				60.9	67.6	68.9		78.6	75.7	85.6		

	(%)	N	名前は知っている											
			05年		06年		07年		08年		09年		10年	
			9月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月		
全体	全体	400	31.0	31.0	31.3	30.5	32.8	29.8	27.6	20.3	26.5	12.3		
性年代	男性30代	45	28.8	26.0	32.0	30.0	24.0	22.0	19.2	18.4	20.5	20.0		
	男性40代	42	34.6	40.0	30.0	32.0	18.0	22.0	28.8	19.4	22.5	4.8		
	男性50代	47	19.2	34.0	34.0	22.0	22.0	40.0	15.4	20.0	14.6	6.4		
	男性60代	62	21.2	24.0	28.0	40.0	36.0	32.0	25.0	12.3	21.3	8.1		
	女性30代	54	48.1	32.0	38.0	28.0	46.0	26.0	38.5	26.3	34.0	16.7		
	女性40代	41	40.4	34.0	38.0	32.0	34.0	28.0	34.6	25.0	32.6	22.0		
女性50代	48	23.1	20.0	32.0	34.0	44.0	44.0	36.5	21.1	36.7	6.3			
女性60代	61	32.7	38.0	18.0	26.0	38.0	24.0	23.1	19.7	29.0	14.8			
通院区分	定期的通院	298				29.8	24.8	25.7		17.8	22.4	13.1		

	(%)	N	認知計 (知っている+名前は知っている 計)											
			05年		06年		07年		08年		09年		10年	
			9月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月		
全体	全体	400	72.6	82.0	90.3	90.0	92.5	94.0	94.7	97.0	98.5	98.5		
性年代	男性30代	45	80.7	78.0	88.0	86.0	92.0	90.0	90.4	100.0	100.0	100.0		
	男性40代	42	73.1	90.0	90.0	94.0	88.0	84.0	94.2	100.0	97.5	97.6		
	男性50代	47	69.2	80.0	96.0	90.0	96.0	100.0	94.2	96.0	97.9	95.7		
	男性60代	62	71.2	88.0	90.0	94.0	92.0	96.0	94.2	98.2	100.0	98.4		
	女性30代	54	71.2	84.0	90.0	90.0	96.0	98.0	100.0	98.2	96.2	100.0		
	女性40代	41	75.0	78.0	90.0	88.0	96.0	92.0	96.2	93.2	100.0	100.0		
女性50代	48	73.1	80.0	88.0	90.0	94.0	96.0	94.2	96.5	100.0	97.9			
女性60代	61	67.3	78.0	90.0	88.0	86.0	96.0	94.2	95.1	96.8	98.4			
通院区分	定期的通院	298				90.7	92.4	94.6		96.4	98.1	98.7		

は前回調査より5pt以上アップ

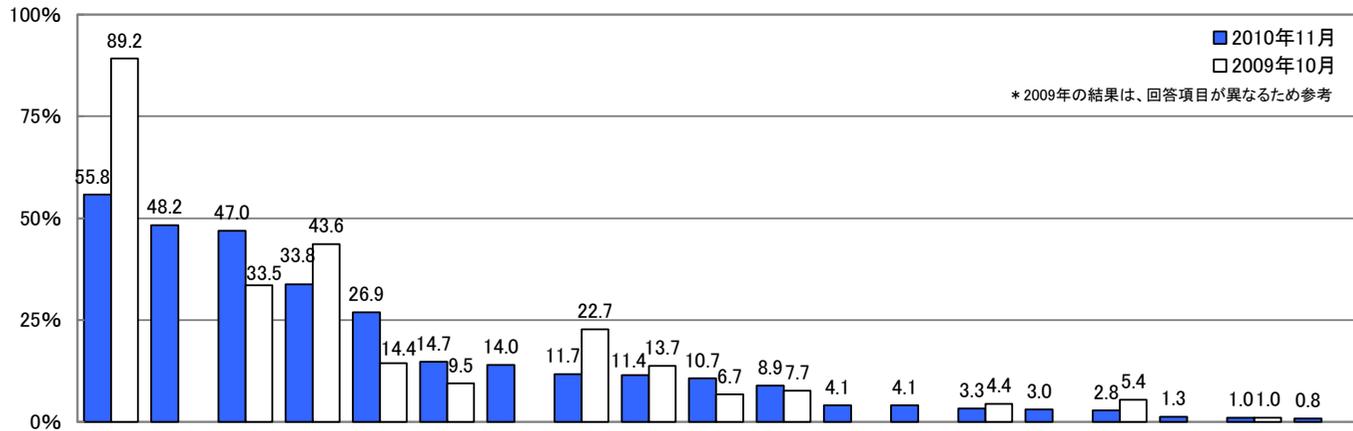


「ジェネリック医薬品」の認知機会

Q1で「知っている」「名前は知っている」とお答えの方へ

Q2. あなたは「ジェネリック医薬品」のことを、何で見聞きされますか。あてはまるものを全てお選びください。(MA)

テレビ番組が最も高く55.8%、次いでテレビCMの48.2%、病院・薬局のポスター47.0%と続いている。



全体 (%)	N	見聞き先 (%)																			
		テレビ番組	（広告）テレビCM	病院、薬局のポスター	新聞記事	薬剤師から	医師から	（広告）新聞広告	インターネットのWEBサイト	雑誌記事	会社からの健康保険組合からの通知	友人、知人から	（広告）雑誌広告	市区町村などの自治体からの通知	（広告）電車のポスター・中吊り広告	（広告）インターネット広告	ラジオ番組	（広告）ラジオCM	その他	特に見聞きすることは	
全体	2009年10月 394	89.2		33.5	43.6	14.4	9.5		22.7	13.7	6.7	7.7			4.4		5.4	1.3	1.0	0.8	
	2010年11月 394	55.8	48.2	47.0	33.8	26.9	14.7	14.0	11.7	11.4	10.7	8.9	4.1	4.1	3.3	3.0	2.8	1.3	1.0	0.8	
性年代	男性30代	45	53.3	51.1	37.8	22.2	31.1	15.6	6.7	22.2	15.6	8.9	15.6	2.2	4.4	0.0	0.0	4.4	0.0	2.2	0.0
	男性40代	41	63.4	46.3	29.3	34.1	26.8	14.6	9.8	14.6	9.8	12.2	12.2	7.3	2.4	4.9	2.4	7.3	4.9	2.4	2.4
	男性50代	45	55.6	48.9	42.2	40.0	24.4	11.1	8.9	15.6	13.3	6.7	0.0	2.2	4.4	2.2	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性60代	61	60.7	34.4	55.7	49.2	31.1	19.7	18.0	16.4	18.0	16.4	1.6	4.9	6.6	4.9	6.6	3.3	0.0	0.0	1.6
	女性30代	54	44.4	51.9	48.1	13.0	31.5	11.1	7.4	7.4	5.6	7.4	11.1	5.6	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9
	女性40代	41	51.2	58.5	56.1	17.1	14.6	14.6	4.9	7.3	4.9	17.1	17.1	2.4	2.4	4.9	4.9	2.4	4.9	0.0	0.0
	女性50代	47	61.7	46.8	51.1	42.6	23.4	17.0	23.4	6.4	17.0	6.4	6.4	4.3	6.4	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0
女性60代	60	56.7	51.7	50.0	45.0	28.3	13.3	26.7	5.0	6.7	10.0	10.0	3.3	5.0	6.7	1.7	3.3	1.7	3.3	0.0	
通院区分	定期的通院	294	55.4	48.0	45.9	34.0	26.2	15.0	14.3	11.9	9.5	10.5	7.8	5.1	4.1	3.7	2.0	1.7	1.0	1.0	
	高レベル	33	63.6	51.5	60.6	48.5	45.5	30.3	18.2	24.2	12.1	21.2	15.2	12.1	9.1	3.0	15.2	3.0	6.1	3.0	0.0
ジェネリック医薬品理解レベル	中レベル	113	56.6	51.3	49.6	33.6	31.0	18.6	16.8	11.5	14.2	10.6	10.6	3.5	4.4	5.3	1.8	2.7	0.0	1.8	0.9
	低レベル	248	54.4	46.4	44.0	31.9	22.6	10.9	12.1	10.1	10.1	9.3	7.3	3.2	3.2	2.4	2.0	2.8	1.2	0.4	0.8

* N数は10年11月調査

は全体より5pt以上

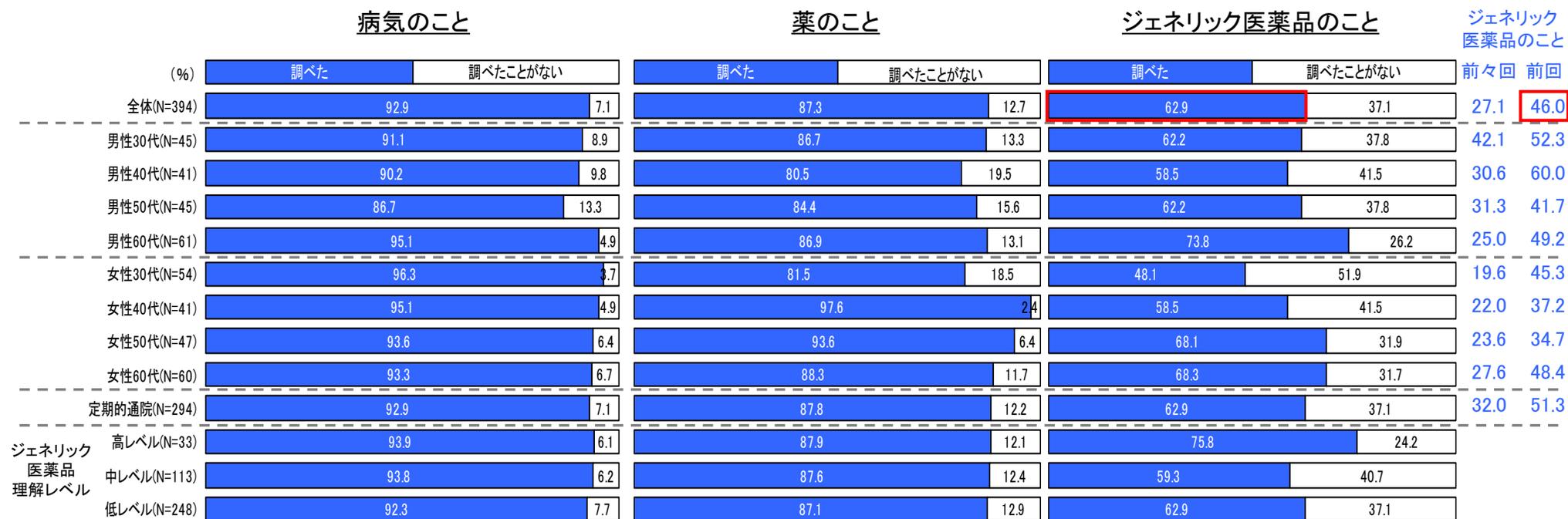
は全体より5pt以下



「ジェネリック医薬品」について調べた経験の有無

Q3. 「病気のこと」「薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について、あなたは調べたことがありますか。(MA)

「病気のこと」、「薬のこと」について調べたことがある人は、全体でそれぞれ90%前後と高くなっている。
「ジェネリック医薬品のこと」については、62.9%の人が調べたことがあると回答。前回から16.9ptアップしている。
男性60代では73.8%の人が「ジェネリック医薬品のこと」について調べており、高い傾向にある。

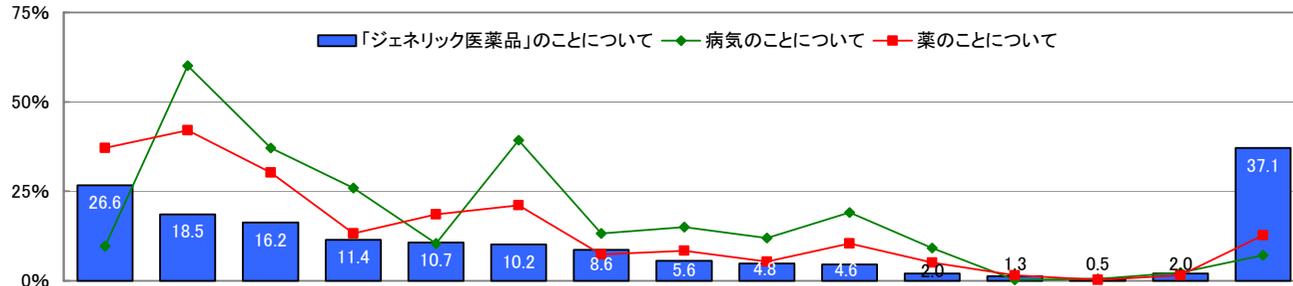


「ジェネリック医薬品」について調べた方法

Q3で「調べたことがある」とお答えの方へ

Q4. 「病気のこと」「薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について、あなたは普段どのようにして調べていますか。(MA)

「病気のことについて」は「医師に聞く」が60.2%、「疾患・治療法のWEBサイト」が39.3%と高く、「薬のことについて」は「医師に聞く」が42.1%、「薬剤師に聞く」が37.1%で高くなっている。「ジェネリック医薬品のことについて」は「薬剤師に聞く」が26.6%で最も高く、「医師に聞く」「その他のWEBサイト」「パンフレット」が続いている。



属性	N	情報源 (%)															
		薬剤師に聞く	医師に聞く	その他のWEBサイト	パ設病院や薬局に置かれたパンフレット	W製薬メーカーのWEBサイト	疾患・治療法のWEBサイト	新聞	友人、知人に聞く	雑誌	本	W協会・患者会などのWEBサイト	製薬メーカーに聞く	健康保険組合に聞く	その他	調べたことはない	
全体	病気のことについて	394	9.6	60.2	37.1	25.9	10.4	39.3	13.2	15.0	11.9	19.0	9.1	0.3	0.5	2.3	7.1
	薬のことについて	394	37.1	42.1	30.2	13.2	18.5	21.1	7.4	8.4	5.3	10.4	5.1	1.5	0.3	1.5	12.7
	「ジェネリック医薬品」のことについて	394	26.6	18.5	16.2	11.4	10.7	10.2	8.6	5.6	4.8	4.6	2.0	1.3	0.5	2.0	37.1
性年代	男性30代	45	24.4	20.0	33.3	11.1	8.9	13.3	4.4	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	2.2	37.8
	男性40代	41	31.7	22.0	12.2	9.8	14.6	17.1	7.3	7.3	7.3	4.9	4.9	0.0	2.4	41.5	
	男性50代	45	31.1	17.8	17.8	6.7	4.4	0.0	15.6	2.2	4.4	4.4	0.0	2.2	4.4	37.8	
	男性60代	61	29.5	26.2	14.8	23.0	11.5	9.8	14.8	1.6	13.1	9.8	1.6	1.6	0.0	1.6	26.2
	女性30代	54	20.4	14.8	13.0	7.4	11.1	7.4	1.9	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	51.9
	女性40代	41	17.1	14.6	19.5	12.2	9.8	7.3	9.8	7.3	2.4	2.4	2.4	0.0	2.4	0.0	41.5
	女性50代	47	25.5	10.6	19.1	8.5	17.0	12.8	8.5	6.4	2.1	4.3	2.1	2.1	0.0	2.1	31.9
女性60代	60	31.7	20.0	5.0	10.0	8.3	13.3	6.7	5.0	1.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	31.7	
通院区分	定期的通院	294	25.5	18.7	15.0	10.5	11.2	10.9	8.5	4.1	4.8	5.1	1.7	0.3	0.7	1.7	37.1
ジェネリック医薬品理解レベル	高レベル	33	42.4	21.2	27.3	18.2	24.2	15.2	15.2	9.1	12.1	9.1	6.1	3.0	0.0	6.1	24.2
	中レベル	113	31.0	23.0	17.7	14.2	10.6	8.0	8.8	5.3	6.2	5.3	3.5	2.7	0.0	0.9	40.7
	低レベル	248	22.6	16.1	14.1	9.3	8.9	10.5	7.7	5.2	3.2	3.6	0.8	0.4	0.8	2.0	37.1

*N数は10年11月調査

は全体より5pt以上

は全体より5pt以下

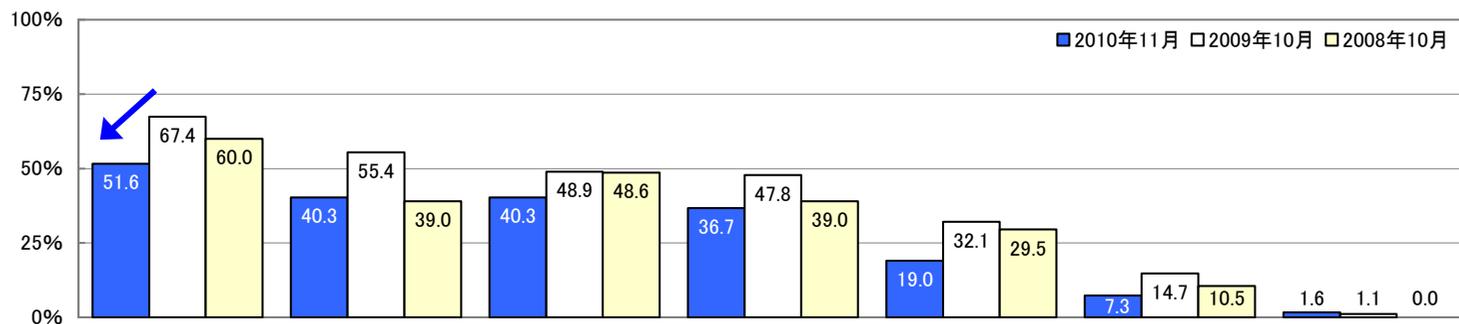


「ジェネリック医薬品」について調べたこと

Q3で「ジェネリック医薬品について調べたことがある」とお答えの方へ

Q5. 「ジェネリック医薬品」について、どのようなことを調べましたか。あてはまるものを全てお選びください。(MA)

「自分の薬と同じ成分のジェネリック医薬品があるか」が前回より15.8pt低下しているが、51.6%でトップとなっており、「いくら安くなるか」、「品質について」が40.3%と続いている。



(%)	N	自分が飲んでいる薬と同じ成分の「ジェネリック医薬品」があるのか	それぞれの薬がいくらか安くなるのか	「ジェネリック医薬品」の品質について	どんな病気の薬で「ジェネリック医薬品」が発売されているのか	どうすれば、「ジェネリック医薬品」を処方・調剤してくれるのか	「ジェネリック医薬品」を処方・調剤している医療機関がどこにあるのか	その他	
全体	2008年10月	105	60.0	39.0	48.6	39.0	29.5	10.5	0.0
	2009年10月	184	67.4	55.4	48.9	47.8	32.1	14.7	1.1
	2010年11月	248	51.6	40.3	40.3	36.7	19.0	7.3	1.6
性年代	男性30代	28	50.0	50.0	46.4	35.7	25.0	10.7	0.0
	男性40代	24	54.2	41.7	50.0	41.7	16.7	4.2	0.0
	男性50代	28	57.1	42.9	50.0	39.3	14.3	17.9	3.6
	男性60代	45	64.4	42.2	40.0	37.8	17.8	4.4	0.0
	女性30代	26	46.2	38.5	19.2	26.9	30.8	3.8	0.0
	女性40代	24	50.0	25.0	41.7	33.3	20.8	0.0	4.2
	女性50代	32	31.3	37.5	31.3	43.8	18.8	12.5	3.1
	女性60代	41	53.7	41.5	43.9	34.1	12.2	4.9	2.4
通院区分	定期的通院	185	52.4	41.1	41.1	36.8	15.7	6.5	2.2
ジェネリック医薬品理解レベル	高レベル	25	80.0	52.0	84.0	64.0	40.0	20.0	0.0
	中レベル	67	61.2	46.3	40.3	37.3	13.4	9.0	1.5
	低レベル	156	42.9	35.9	33.3	32.1	17.9	4.5	1.9

* N数は10年11月調査

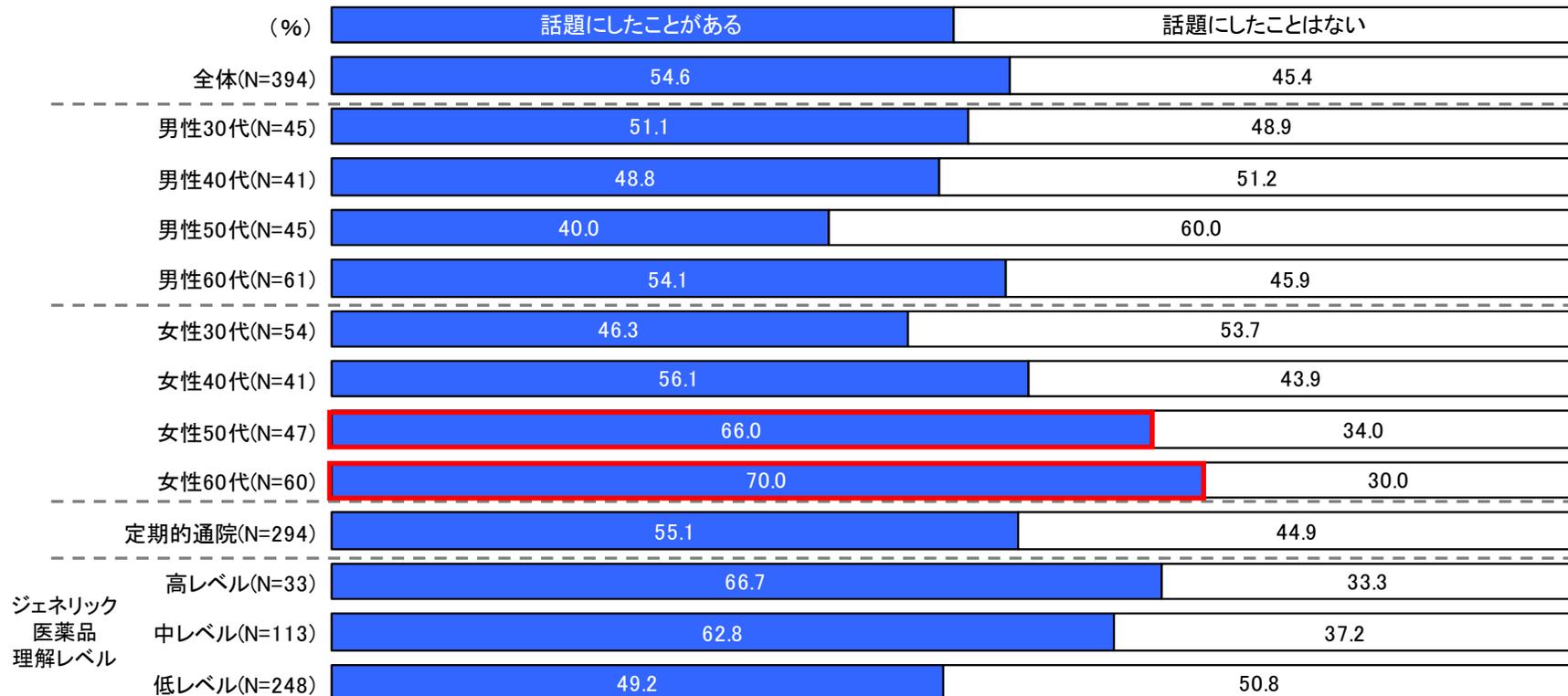
は全体より5pt以上

は全体より5pt以下

「ジェネリック医薬品」についての話題の有無

Q6. これまで、「ジェネリック医薬品」のことを誰かと話題にされたことはありますか。(SA)

「ジェネリック医薬品」を話題にしたことがある人は、54.6%で過半数を超えている。
特に女性50代では66.0%、女性60代では70.0%と女性の年代の高い層で話題となっている。

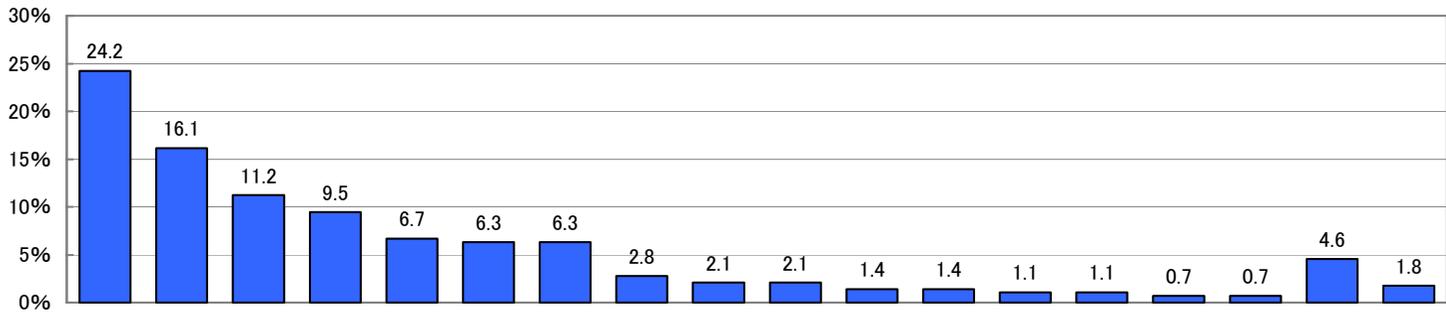


「ジェネリック医薬品」の話題の内容

Q6で「ジェネリック医薬品について話題にしたことがある」とお答えの方へ

Q7. 「ジェネリック医薬品」を話題にされた際、どのようなことが話題になりましたか。どのようなことでも構いませんので、できるだけ詳しくお答えください。(FA)

話題の内容は、「価格が安いこと」が最も多く、24.2%となっており、「先発品との効果の違い」「価格と効果のバランス」が続いている。



	(%)	N	価格が安いこと	先発品との効果の違い	価格と効果のバランス	安全性について	自分の薬の「ジェネリック」への切り替えについて	新薬開発の困難さ	医師等が導入に消極的	購入場所	言い出しにくい	自分たちが使っていること	関心がない・使いたくない	医師等が導入に積極的	他人に勧めた	自らの申告が必要なこと	海外の事例	制度の促進	その他	わからない	
全体	全体	285	24.2	16.1	11.2	9.5	6.7	6.3	6.3	2.8	2.1	2.1	1.4	1.4	1.1	1.1	0.7	0.7	4.6	1.8	
性年代	男性30代	27	22.2	25.9	11.1	3.7	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	3.7	
	男性40代	22	40.9	18.2	9.1	13.6	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	
	男性50代	22	13.6	22.7	4.5	9.1	0.0	4.5	4.5	9.1	0.0	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	4.5	
	男性60代	43	23.3	14.0	18.6	9.3	4.7	4.7	9.3	4.7	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	4.7	
	女性30代	32	37.5	15.6	12.5	12.5	6.3	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	
	女性40代	32	31.3	12.5	9.4	18.8	3.1	9.4	6.3	3.1	3.1	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性50代	43	18.6	11.6	14.0	14.0	4.7	7.0	2.3	7.0	0.0	4.7	0.0	4.7	0.0	2.3	4.7	2.3	2.3	2.3	
女性60代	63	17.5	15.9	7.9	1.6	14.3	6.3	12.7	0.0	7.9	1.6	0.0	3.2	1.6	4.8	1.6	0.0	3.2	0.0		
通院区分	定期的通院	214	23.8	15.4	10.3	7.9	7.5	5.6	7.9	2.8	2.8	2.8	1.9	1.9	1.4	1.4	0.9	0.9	4.7	1.4	
ジェネリック 医薬品 理解レベル	高レベル	68	17.6	19.1	11.8	8.8	5.9	4.4	8.8	2.9	1.5	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5	2.9	5.9	2.9	
	中レベル	103	27.2	11.7	11.7	5.8	10.7	7.8	6.8	1.9	3.9	2.9	1.0	1.9	1.0	1.9	1.0	0.0	2.9	0.0	
	低レベル	114	25.4	18.4	10.5	13.2	3.5	6.1	4.4	3.5	0.9	1.8	1.8	0.9	1.8	0.0	0.0	0.0	5.3	2.6	

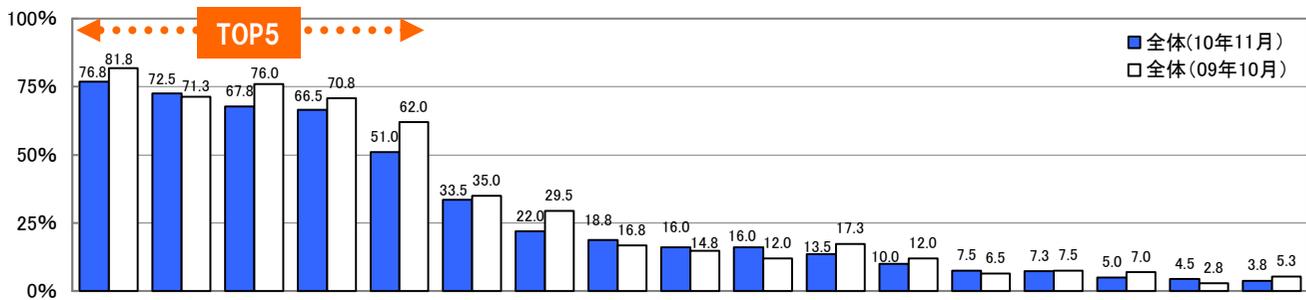
は全体より5pt以上 (Yellow background) | は全体より5pt以下 (Blue background)



「ジェネリック医薬品」の特徴認知

Q8. 「ジェネリック医薬品」には次のような特徴があります。ご存知の事柄をすべてお選び下さい。(MA)

TOP5の項目は50%を超えているが、「国の医療費節減につながる」という項目が33.5%と上位項目との乖離がみられる。



	N	特徴																								
		新薬と同じ主成分・同等の効き目	新薬の特許期間満了後に発売される薬	薬価は新薬の2/7割である	お医者さんから処方される薬(医療用医薬品)	患者さん個人の自己負担額の軽減につながる(薬代が安くなる)	国の医療費節減につながる	承認済みの品質は厚生労働省の	日本ではまだ約20%程度しか使用されていない	確認されている有効性、安全性が	生物学的同等性試験及び溶出試験により	「ジェネリック医薬品」になっているのは政府の「骨太方針」に	一般的である	欧米諸国の多くでは医療用医薬品の50%のシェアを占め	様々な薬効群で展開	抗生物質・循環器用剤・抗がん剤など	これは現在、欧米で一般的な方法であり、生物学的同等性試験の判定法は90%	信頼区間による方法を一般的に使用促進を提唱	WHO(世界保健機関)が	錠剤を小さくしたり、苦味を軽減するなど、製剤工夫がされている	引き上げることが目標としている	数量ベースシェアを30%までに	国の方針として2012年までに	ひとつも知らない		
全体	全体(09年10月)	400	81.8	71.3	76.0	70.8	62.0	35.0	29.5	16.8	14.8	12.0	17.3	12.0	6.5	7.5	7.0	2.8	5.3							
	全体(10年11月)	400	76.8	72.5	67.8	66.5	51.0	33.5	22.0	18.8	16.0	16.0	13.5	10.0	7.5	7.3	5.0	4.5	3.8							
性年代	男性30代	45	73.3	77.8	64.4	66.7	53.3	31.1	17.8	20.0	15.6	15.6	13.3	6.7	4.4	8.9	6.7	6.7	0.0							
	男性40代	42	73.8	78.6	69.0	71.4	45.2	33.3	16.7	19.0	16.7	19.0	9.5	9.5	9.5	7.1	7.1	7.1	4.8							
	男性50代	47	85.1	80.9	70.2	70.2	46.8	38.3	23.4	29.8	19.1	12.8	21.3	8.5	8.5	6.4	4.3	4.3	4.3							
	男性60代	62	72.6	82.3	67.7	45.2	54.8	43.5	29.0	27.4	12.9	29.0	17.7	11.3	6.5	9.7	4.8	8.1	4.8							
	女性30代	54	79.6	53.7	63.0	63.0	38.9	20.4	16.7	9.3	16.7	9.3	7.4	7.4	5.6	3.7	3.7	1.9	7.4							
	女性40代	41	75.6	65.9	65.9	82.9	53.7	26.8	19.5	7.3	9.8	14.6	7.3	12.2	7.3	2.4	2.4	2.4	0.0							
通院区分	定期的通院	298	79.2	74.2	68.5	63.8	49.7	33.9	23.5	20.5	16.8	18.5	12.8	10.1	7.0	7.7	4.4	4.7	3.0							
	ジェネリック医薬品																									
理解レベル	高レベル	33	100.0	100.0	100.0	100.0	90.9	100.0	78.8	100.0	48.5	69.7	78.8	57.6	36.4	42.4	33.3	36.4	0.0							
	中レベル	113	100.0	100.0	100.0	100.0	62.8	38.9	28.3	10.6	20.4	21.2	8.0	11.5	8.0	8.0	6.2	1.8	0.0							
	低レベル	254	63.4	56.7	49.2	47.2	40.6	22.4	11.8	11.8	9.8	6.7	7.5	3.1	3.5	2.4	0.8	1.6	5.9							

*N数は10年11月調査

は全体より5pt以上

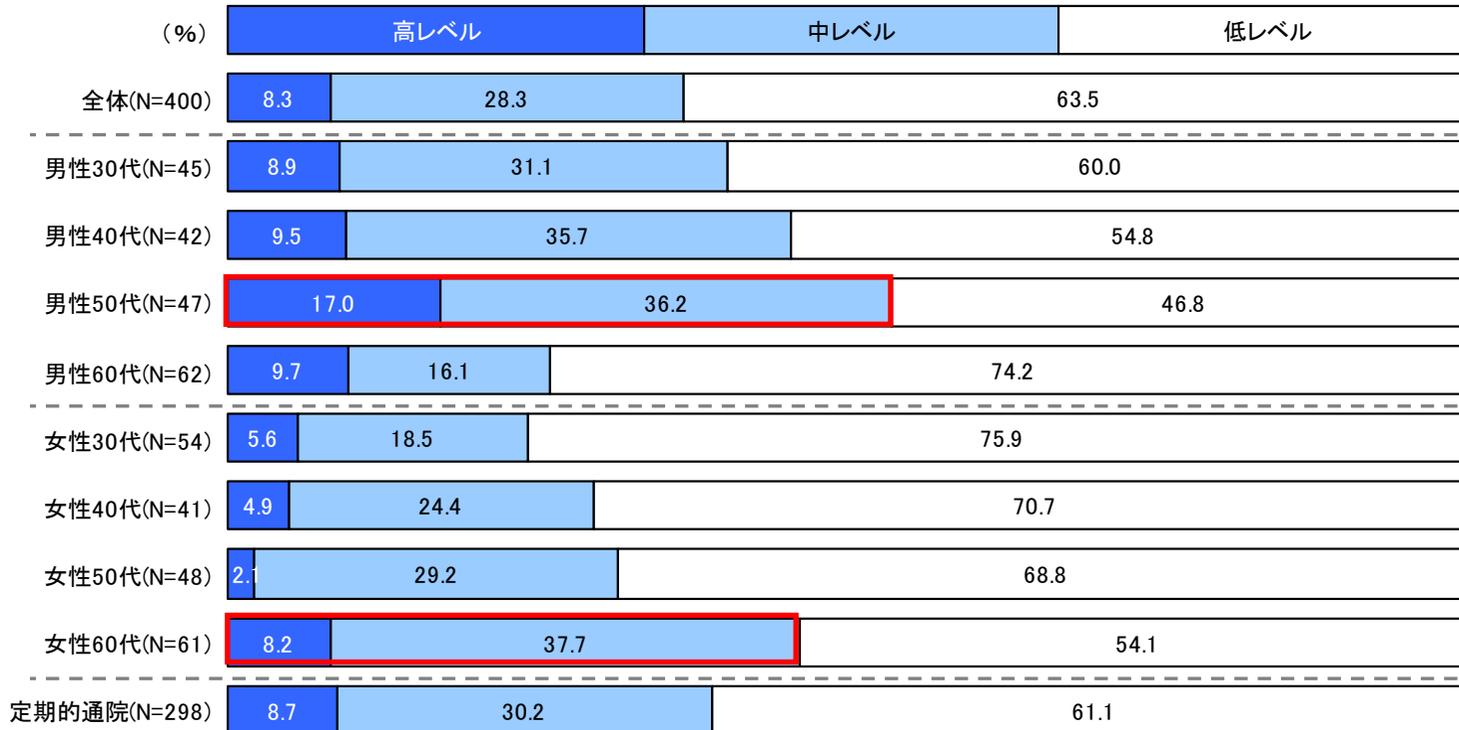
は全体より5pt以下



「ジェネリック医薬品」の理解レベル 層別状況

Q8. 「ジェネリック医薬品」には次のような特徴があります。ご存知の事柄をすべてお選び下さい。(MA)

男性50代、女性60代で理解レベルが高い傾向にある。



■高レベル:

Q8で下記6項目すべてを認知している層

- ・お医者さんから処方される薬(医療用医薬品)
- ・新薬の特許期間満了後に発売される薬
- ・新薬と同じ主成分・同等の効き目
- ・薬価は新薬の2~7割である
- ・国全体の医療費節減につながる
- ・日本ではまだ約20%程度しか使用されていない

■中レベル:

Q8で下記4項目すべてを認知している層

- ・お医者さんから処方される薬(医療用医薬品)
- ・新薬の特許期間満了後に発売される薬
- ・新薬と同じ主成分・同等の効き目
- ・薬価は新薬の2~7割である

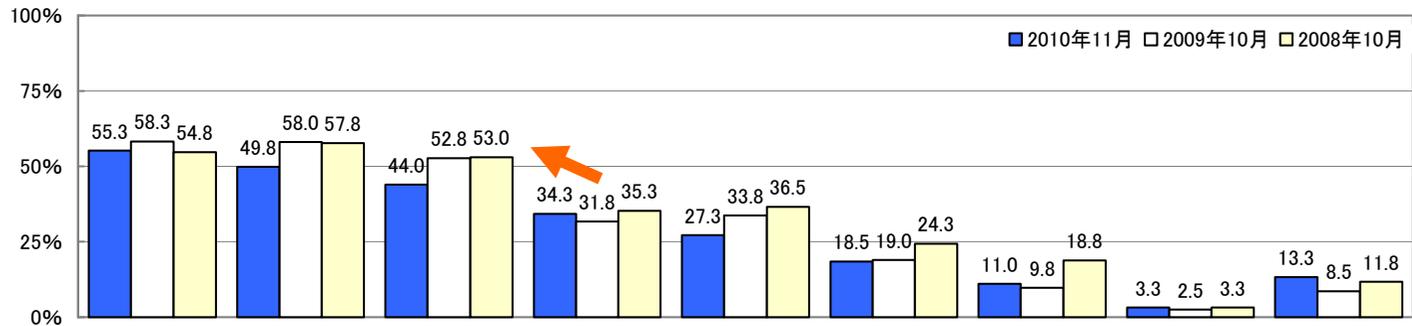
■低レベル:

高・中レベル以外の層

「ジェネリック医薬品」について知りたいこと

Q9. 「ジェネリック医薬品」について、もっと具体的に知りたいことはなんでしょう。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

全体的に前回よりスコアが低下しているが、「品質について」が微増。



(%)	N	安くなるのか	どんな病気の薬で発売されているのか	自分が飲んでいる薬と同じ成分があるのか	品質について	処方・調剤してくれるのか	処方・調剤している医療機関	製造している医薬品メーカーについて	その他	特になし	
全体	2008年10月	400	54.8	57.8	53.0	35.3	36.5	24.3	18.8	3.3	11.8
	2009年10月	400	58.3	58.0	52.8	31.8	33.8	19.0	9.8	2.5	8.5
	2010年11月	400	55.3	49.8	44.0	34.3	27.3	18.5	11.0	3.3	13.3
性年代	男性30代	45	77.8	51.1	53.3	24.4	28.9	28.9	6.7	2.2	8.9
	男性40代	42	35.7	38.1	31.0	33.3	21.4	16.7	11.9	0.0	23.8
	男性50代	47	53.2	36.2	42.6	44.7	27.7	19.1	12.8	4.3	17.0
	男性60代	62	61.3	59.7	43.5	27.4	33.9	16.1	9.7	6.5	9.7
	女性30代	54	64.8	55.6	51.9	27.8	31.5	20.4	11.1	0.0	11.1
	女性40代	41	48.8	56.1	43.9	34.1	19.5	14.6	7.3	2.4	17.1
	女性50代	48	47.9	50.0	35.4	37.5	27.1	14.6	10.4	4.2	12.5
	女性60代	61	49.2	47.5	47.5	44.3	24.6	18.0	16.4	4.9	9.8
通院区分	定期的通院	298	52.3	47.7	43.6	34.2	25.5	17.8	11.1	3.7	13.8
ジェネリック医薬品理解レベル	高レベル	33	48.5	69.7	60.6	39.4	36.4	39.4	24.2	6.1	15.2
	中レベル	113	53.1	46.0	38.1	40.7	26.5	22.1	10.6	6.2	12.4
	低レベル	254	57.1	48.8	44.5	30.7	26.4	14.2	9.4	1.6	13.4

* N数は10年11月調査

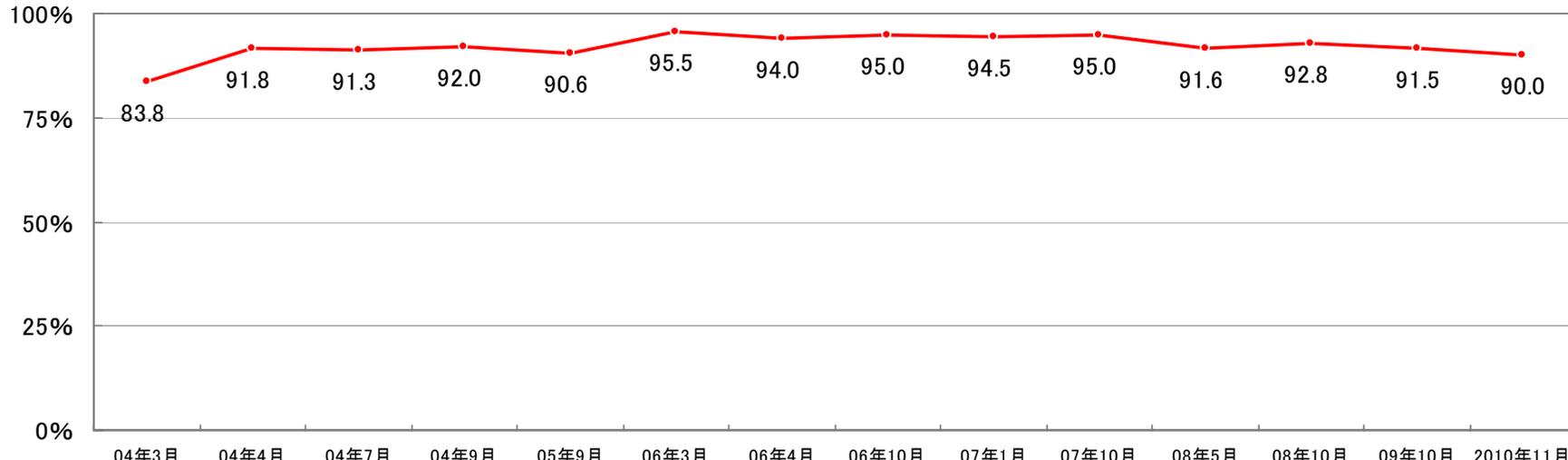
は全体より5pt以上

は全体より5pt以下

「ジェネリック医薬品」の処方・調剤意向

Q10. このような「ジェネリック医薬品」を医師や薬剤師に処方・調剤して欲しいと思いますか。(SA)

「ジェネリック医薬品」の処方・調剤意向は90.0%と、変わらず高いスコアをキープしている。



(%)	N	処方・調剤して欲しい (処方して欲しい)													
		04年				05年	06年			07年		08年		09年	10年
		3月	4月	7月	9月	9月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月
全体	400	83.8	91.8	91.3	92.0	90.6	95.5	94.0	95.0	94.5	95.0	91.6	92.8	91.5	90.0
男性30代	45	76.0	86.0	90.0	92.0	90.4	100.0	98.0	94.0	94.0	98.0	96.2	89.5	88.6	82.2
男性40代	42	96.0	92.0	90.0	92.0	82.7	92.0	92.0	98.0	96.0	96.0	92.3	94.4	87.5	90.5
男性50代	47	84.0	96.0	86.0	90.0	96.2	98.0	94.0	94.0	92.0	96.0	92.3	98.0	93.8	85.1
男性60代	62	80.0	94.0	96.0	100.0	94.2	100.0	98.0	94.0	96.0	94.0	96.2	98.2	93.4	93.5
女性30代	54	84.0	92.0	92.0	88.0	86.5	100.0	92.0	96.0	96.0	96.0	88.5	86.0	90.6	90.7
女性40代	41	88.0	92.0	96.0	94.0	92.3	90.0	92.0	98.0	98.0	94.0	92.3	88.6	93.0	92.7
女性50代	48	84.0	98.0	90.0	90.0	92.3	98.0	90.0	92.0	88.0	94.0	86.5	94.7	89.8	95.8
女性60代	61	78.0	84.0	90.0	90.0	90.4	86.0	96.0	94.0	84.0	92.0	88.5	91.8	93.5	88.5
定期的通院	263									93.2	91.0	91.9		93.8	90.9

* N数は2010年11月調査

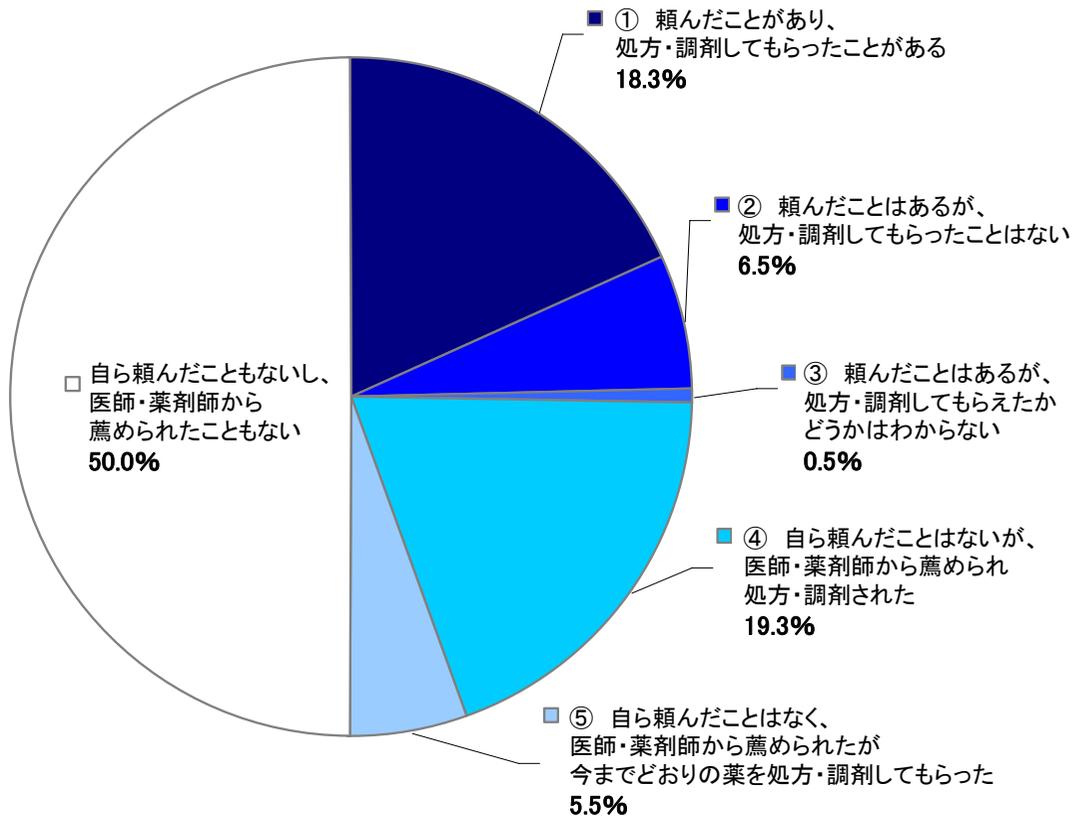
前回調査より5ポイント以上アップ



「ジェネリック医薬品」の処方・調剤依頼経験①

Q11. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と頼んだことはありますか？(SA)

処方・調剤依頼計(グラフ①+②+③)は25.3%となり前回より4pt増加。
実際に処方されたことがある人(グラフ①+④)は37.5%で、前回より9.5pt伸びている。



(%)	N	(処方・調剤依頼計 ①+②+③)	(処方・調剤された計 ①+④)	(処方・調剤を勧められた計 ①+④+⑤)	(処方・調剤を勧められた計 ④+⑤)
全体(08年10月)	400	20.5	26.3	31.5	17.5
全体(09年10月)	400	21.3	28.0	34.5	21.0
全体(10年11月)	400	25.3	37.5	43.0	24.8
10年—09年	差	+4.0	+9.5	+8.5	+3.8

[10年11月 属性別]

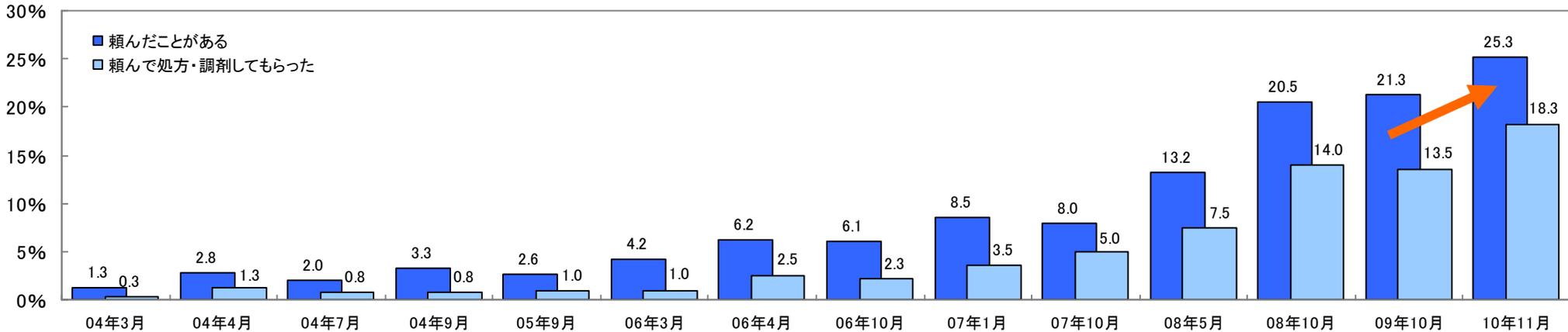
	N	↓	↓	↓	↓
男性30代	45	24.4	46.7	48.9	28.9
男性40代	42	23.8	35.7	40.5	21.4
男性50代	47	31.9	42.6	48.9	21.3
男性60代	62	29.0	40.3	45.2	24.2
女性30代	54	16.7	24.1	31.5	20.4
女性40代	41	19.5	34.1	41.5	29.3
女性50代	48	27.1	33.3	39.6	20.8
女性60代	61	27.9	42.6	47.5	31.1
定期的通院	298	27.9	39.3	46.3	25.5
高レベル	33	30.3	51.5	51.5	30.3
中レベル	113	31.9	43.4	46.0	22.1
低レベル	254	21.7	33.1	40.6	25.2

「ジェネリック医薬品」の処方・調剤依頼経験②

※08年10月以降、対象者の割付が変更されているため、08年05月以前の時系列比較は参考

Q11. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と頼んだことはありますか？(SA)

「頼んだことがある」は25.3%、「頼んで処方・調剤してもらった」18.3%となり、前回から増加。
依頼傾向は長期的に見て順調に伸びている。



(%)	N	頼んで処方・調剤してもらった										
		05年		06年		07年		08年		09年		10年
		9月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	
全体	400	1.0	1.0	2.5	2.3	3.5	5.0	7.5	14.0	13.5	18.3	
男性30代	45	1.9	0.0	6.0	0.0	2.0	2.0	9.6	21.1	15.9	20.0	
男性40代	42	3.8	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	5.8	16.7	22.5	19.0	
男性50代	47	0.0	2.0	0.0	6.0	4.0	4.0	13.5	20.0	10.4	27.7	
男性60代	62	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	7.7	15.8	19.7	21.0	
女性30代	54	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	10.0	3.8	3.5	7.5	11.1	
女性40代	41	1.9	4.0	4.0	2.0	8.0	4.0	1.9	4.5	9.3	12.2	
女性50代	48	0.0	0.0	4.0	2.0	0.0	6.0	3.8	15.8	6.1	18.8	
女性60代	61	0.0	0.0	6.0	6.0	4.0	6.0	13.5	16.4	16.1	16.4	
定期的通院	298					4.3	6.2	10.1		18.1	17.9	20.8

頼んだが処方・調剤してもらっていないor頼んだが処方・調剤してもらったかは不明											
05年		06年		07年		08年		09年		10年	
9月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	10月	11月
1.7	3.3	3.8	3.8	5.0	3.0	5.8	6.5	7.8	7.0		
1.9	0.0	0.0	6.0	0.0	2.0	7.7	10.5	13.6	4.4		
3.8	4.0	2.0	4.0	4.0	4.0	3.8	8.3	10.0	4.8		
0.0	4.0	4.0	0.0	8.0	6.0	13.5	8.0	6.3	4.3		
5.8	6.0	10.0	10.0	8.0	4.0	7.7	7.0	4.9	8.1		
1.9	4.0	2.0	0.0	2.0	4.0	5.8	8.8	3.8	5.6		
0.0	2.0	2.0	4.0	6.0	0.0	0.0	6.8	4.7	7.3		
0.0	4.0	4.0	4.0	8.0	2.0	1.9	1.8	8.2	8.3		
0.0	2.0	6.0	2.0	4.0	2.0	5.8	3.3	11.3	11.5		
				5.6	10.3	14.2		8.0	9.5	7.0	

頼んだことがある											
05年		06年		07年		08年		09年		10年	
9月	3月	4月	10月	1月	10月	5月	10月	10月	11月	10月	11月
2.6	4.2	6.2	6.1	8.5	8.0	13.2	20.5	21.3	25.3		
3.8	0.0	6.0	6.0	2.0	4.0	17.3	31.6	29.5	24.4		
7.7	6.0	2.0	6.0	4.0	4.0	9.6	25.0	32.5	23.8		
0.0	6.0	4.0	6.0	12.0	10.0	26.9	28.0	16.7	31.9		
5.8	6.0	10.0	10.0	16.0	12.0	15.4	22.8	24.6	29.0		
1.9	4.0	2.0	0.0	4.0	14.0	9.6	12.3	11.3	16.7		
1.9	6.0	6.0	6.0	14.0	4.0	1.9	11.4	14.0	19.5		
0.0	4.0	8.0	6.0	8.0	8.0	5.8	17.5	14.3	27.1		
0.0	2.0	12.0	8.0	8.0	8.0	19.2	19.7	27.4	27.9		
				9.9	16.6	15.5		26.1	27.4	27.9	

* N数は2010年11月 前回調査より2pt以上アップ 「頼んだことがある」=「頼んで処方・調剤してもらった」+「頼んだが処方・調剤してもらっていない」+「頼んだが処方・調剤してもらったかは不明」

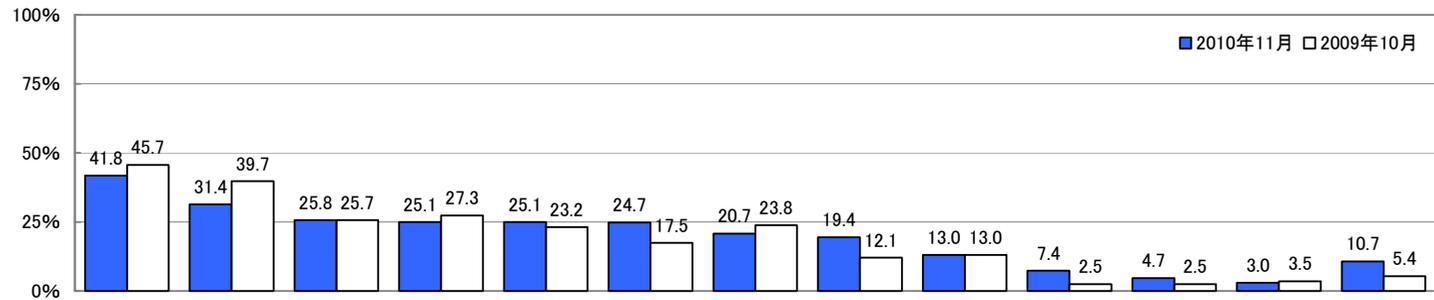


「ジェネリック医薬品」処方・調剤依頼をしない理由

Q11で「頼んだことはない」とお答えの方へ

Q12. 「ジェネリック医薬品」の処方・調剤を頼まない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

「特に何も言われなから」が依然41.8%でトップだが、
「対応するジェネリック医薬品があるかわからないから」とともに、前回より低下。



理由	N	(%)													
		全体	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	通院区分	ジェネリック医薬品理解レベル	高レベル	中レベル	低レベル
特に何も言われなから	315	45.7	38.2	34.4	34.4	59.1	48.9	42.4	31.4	38.6	38.6	39.1	37.7	43.7	
対応するジェネリック医薬品があるかわからないから	299	31.4	47.1	28.1	25.0	31.8	28.9	30.3	25.7	34.1	31.2	34.8	28.6	32.2	
病院でジェネリック医薬品を頼むタイミングがわからないから	258	25.8	32.4	18.8	15.6	36.4	24.4	27.3	20.0	27.3	24.2	21.7	19.5	28.6	
何と云って頼めばいいかわからないから	273	27.3	32.4	15.6	18.8	25.0	37.8	30.3	22.9	15.9	21.9	26.1	16.9	28.1	
誰に頼むべきなのかわからないから	232	23.2	35.3	12.5	21.9	27.3	28.9	27.3	28.6	18.2	22.3	13.0	15.6	30.2	
医師に頼めばいいのかわからないから	175	17.5	14.7	25.0	34.4	27.3	26.7	27.3	17.1	25.0	22.3	39.1	23.4	23.6	
今はそれほど薬代がかかっていないから	238	23.8	23.5	15.6	6.3	25.0	20.0	30.3	22.9	20.5	19.5	13.0	19.5	22.1	
医師や薬剤師に意見するの気がないから	121	12.1	8.8	15.6	12.5	25.0	11.1	21.2	22.9	34.1	20.5	21.7	16.9	20.1	
品質・効果に不安を感じるから	130	13.0	8.8	18.8	9.4	9.1	17.8	21.2	17.1	4.5	9.8	17.4	11.7	13.1	
病気で体調が悪い時にジェネリック医薬品に気が回らないから	2.5	2.5	2.9	3.1	4.5	6.7	6.7	12.1	8.6	11.4	9.3	4.3	9.1	7.0	
処方・調剤して欲しいとは思わないから	2.5	2.5	2.9	3.1	4.5	8.9	8.9	3.0	2.9	4.5	3.3	8.7	1.3	5.5	
ジェネリック医薬品に安心して自己負担額がそんなに変わらないから	3.5	3.5	5.9	0.0	3.1	4.5	0.0	0.0	2.9	4.5	3.7	0.0	2.6	3.5	
長くなりそうだから変更するのを待たない	5.4	5.4	10.7	9.4	12.5	6.8	2.2	9.1	5.7	18.2	12.6	30.4	15.6	6.5	

* N数は10年11月調査

黄色は全体より5pt以上 青は全体より5pt以下

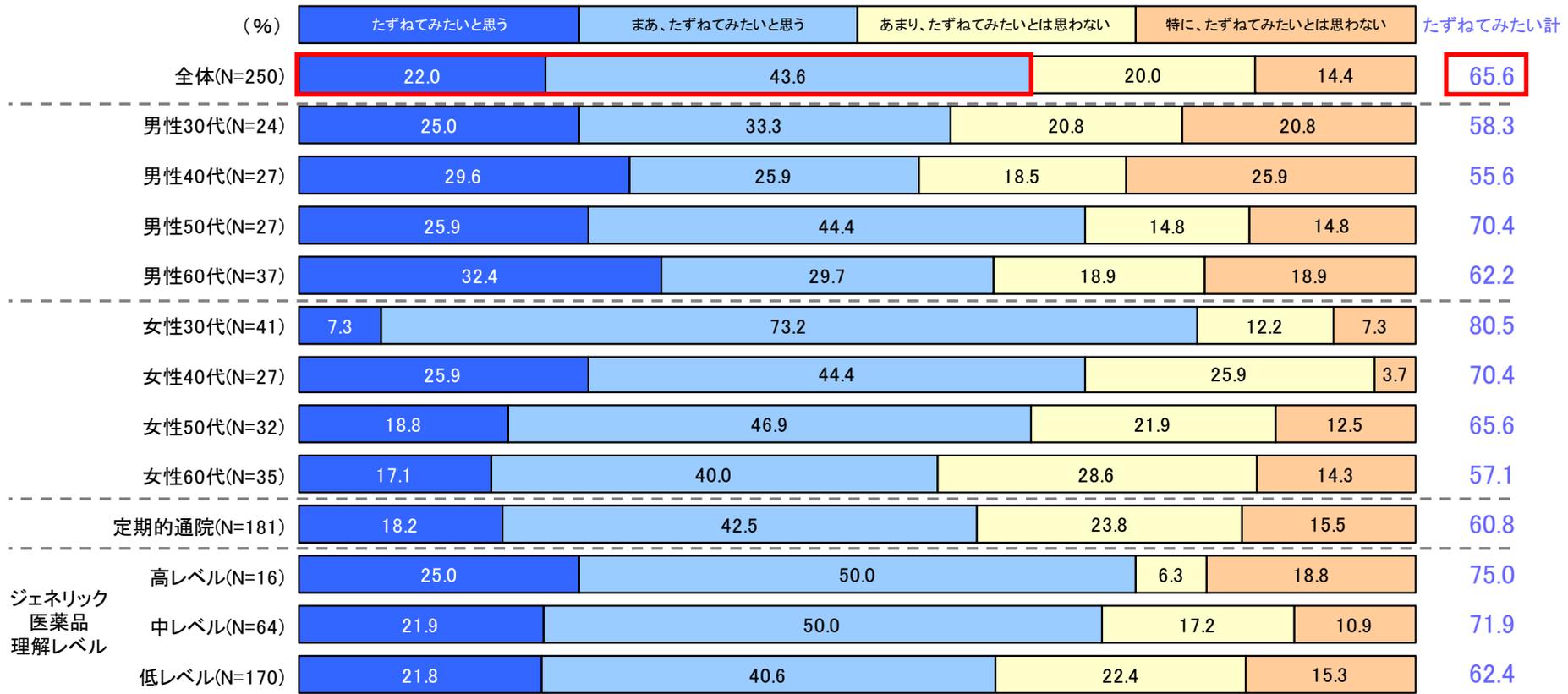


「ジェネリック医薬品」についての問い合わせ意向

Q11で「ジェネリック医薬品を処方・調剤してもらったことがない」とお答えの方へ

Q13. 今後機会があれば、医師や薬剤師に「ジェネリック医薬品」のことをたずねてみたいと思いますか。(SA)

「ジェネリック医薬品についてたずねてみたい」という意向を示したのは、65.6%の割合であった。



※性年代別はサンプル数が少ないため参考値



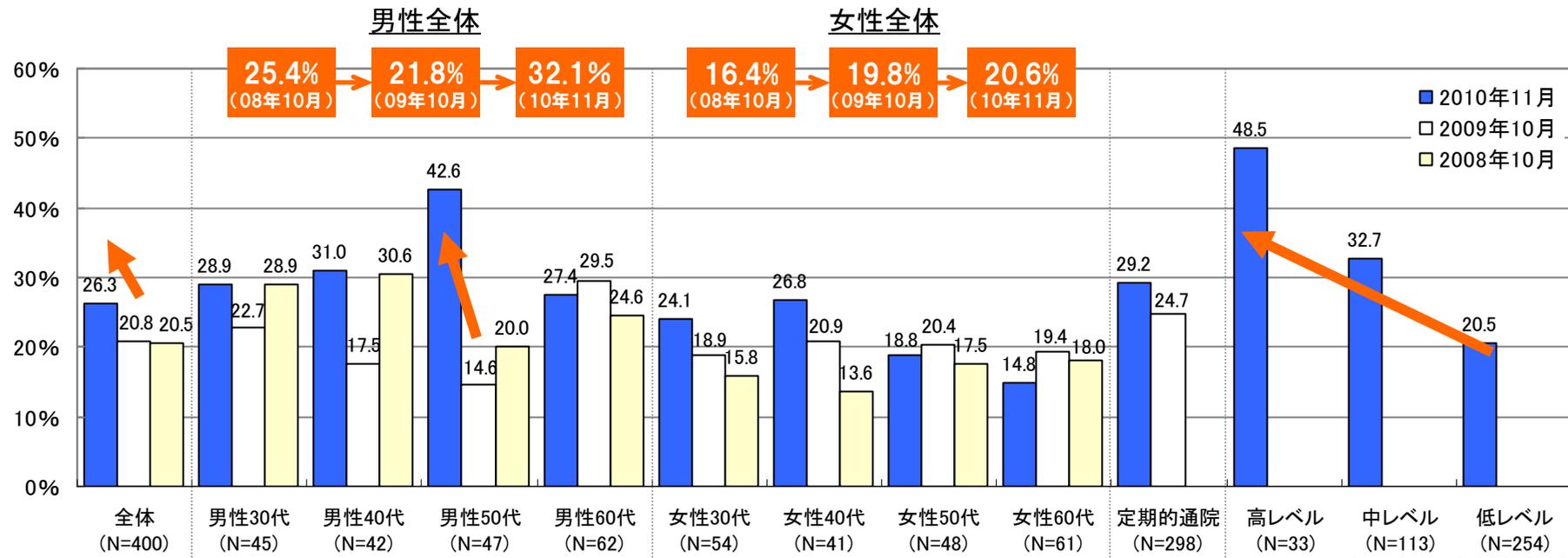
処方せん様式の変更認知

Q14. あなたはこのこと(以下の説明文)をご存知でしたか。(SA)

処方せん様式の変更について、「知っている」が26.3%で
 前回より5pt以上増加しており、特に男性50代のスコアが伸びている。

【説明文】

病院・薬局で薬を処方してもらう際、処方せんに医師のサインがなければ(※)、
 患者さんは薬剤師と相談して「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」に変更することができます。
 ※「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」に変更が不可の場合のみ医師がサインをします。

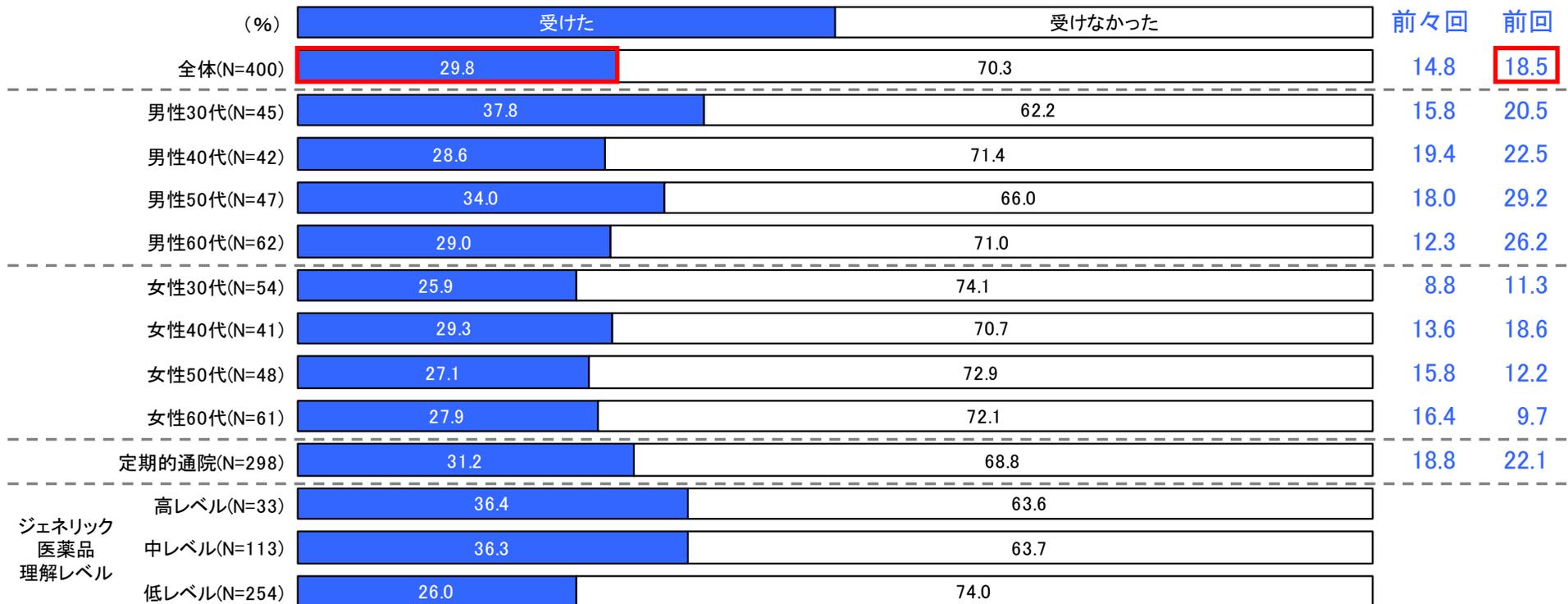


* N数は10年11月調査

「ジェネリック医薬品」について 薬剤師からの説明の有無

Q15. 2008年4月以降に、医療機関で薬をもらう際、薬剤師から「ジェネリック医薬品」についての説明を受けましたか。(SA)

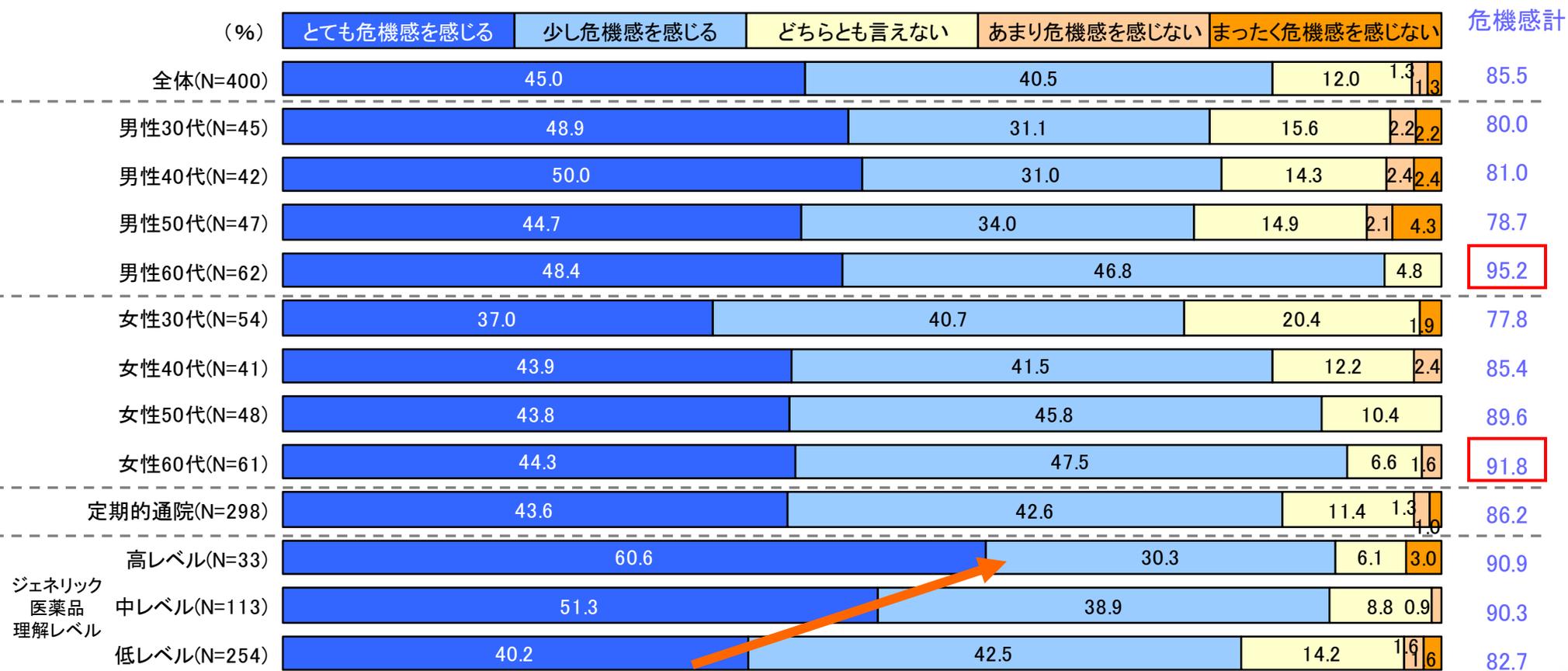
説明を受けた人は29.8%と、前回より11.3pt増加している。



「国の医療費増大」の問題への危機感

Q16. 最近新聞やテレビなどで「国の医療費増大」による皆保険制度の是非や、企業健保組合の赤字などの問題がクローズアップされていますが、あなたはこの「国の医療費増大」の問題について危機感を感じますか？(SA)

全体の45%が「とても感じる」と答えており、「少し感じる」を含めると85.5%で非常に高い結果となり、男女ともに60代では90%を超えている。また、ジェネリック医薬品理解レベルの高い人ほど、「とても危機感を感じる」が高い傾向にある。





【ジェネリック医薬品】
薬剤師におけるジェネリックへの意識
2010年11月 薬剤師調査

2010年12月21日

沢井製薬株式会社

ジェネリック医薬品に関する意識、処方・調剤状況を定点観測として時系列で比較する。
また、2010年4月に実施された診療報酬改定を受けて、
ジェネリック医薬品の処方・調剤状況の変化や、市場環境の変化を探る。

薬剤師調査

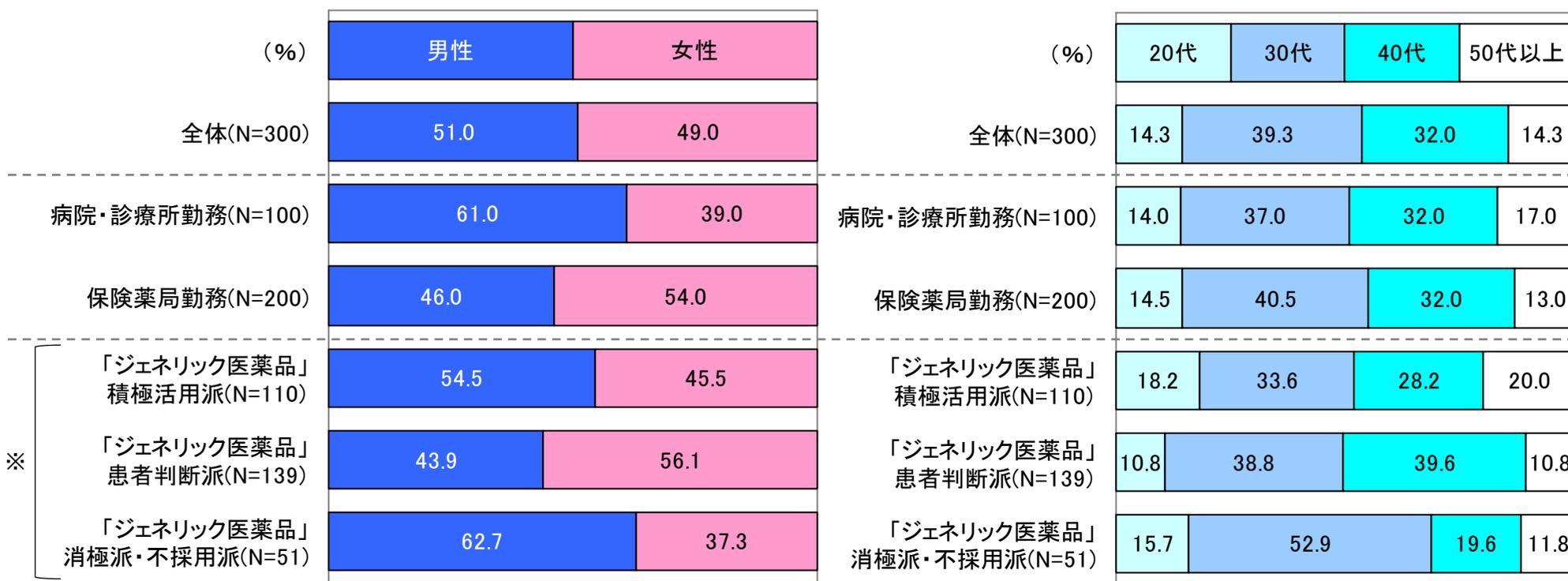
調査対象： 全国の薬剤師

サンプル構成： 計300サンプル

調査項目：
・「ジェネリック医薬品」の活用方針
・「ジェネリック医薬品」の啓発のための工夫
・「ジェネリック医薬品」へ変更可能な処方せんの割合
・「ジェネリック医薬品」へ変更可能な処方せんへの対応
など

調査手法： インターネット調査

調査期間： 2010年11月5日(金)～8日(月)



※Q2 「ジェネリック医薬品の活用方針」より分類

- 積極活用派・・・「ジェネリック医薬品」の積極活用を進めていると回答した方
- 患者判断派・・・患者さんの判断に委ねていると回答した方
- 消極派・不採用派・・・「ジェネリック医薬品」を積極的には活用していない／勤め先では「ジェネリック医薬品」を採用していないと回答した方

- Q1. 「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選び下さい。(MA)
- Q2. あなたのお勤め先では、「ジェネリック医薬品」の積極的活用を進められていますか。(SA)
- Q3. あなたのお勤め先の薬局が、現時点で取得している「後発医薬品調剤体制加算」は何点ですか。(SA)
- Q4. あなたのお勤め先の薬局では「後発医薬品調剤体制加算」の加算点数を、今後さらに伸ばしていく方針はありますか。(SA)
- Q5. あなたのお勤め先では、「ジェネリック医薬品」啓発のための工夫を何かされていますか。(MA)
- Q6. ここ最近1ヶ月以内に応需した処方せんのうち、「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない(医師のサインのない)処方せんはだいたいどのくらいでしたか。(SA)
また、「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない(医師のサインのない)処方せんのうち、実際に「ジェネリック医薬品」に変更になった割合はだいたいどれくらいでしたか。(SA)
- Q7. 「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない(医師のサインのない)処方せんの場合、あなたやあなたのお勤め先では患者さんに対し、「ジェネリック医薬品」についての説明を行っていますか。ここ最近1ヶ月以内についてお答えください。(MA)
- Q8. 「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない(医師のサインのない)処方せんの場合、あなたやあなたのお勤め先ではどのような対応をとっておられますか。あてはまるものを全てお答えください。(MA)

- Q9. 「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない(医師のサインのない)処方せんの場合、以下に挙げた疾患の薬について、「ジェネリック医薬品」を調剤することと、新薬を調剤することの、どちらが多いですか。(SA)
- Q10. 2008年4月以降、患者さんから「ジェネリック医薬品を調剤(処方)してほしい」と頼まれたことはありますか。(SA)
- Q11. 今後、「ジェネリック医薬品」が普及していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(MA)
- Q12. 最近、新聞やテレビなどで「国の医療費増大」による皆保険制度の是非や、企業健保組合の赤字などの問題がクローズアップされていますが、あなたはこの「国の医療費増大」の問題について危機感を感じますか。(SA)

※SA：単一回答
※MA：複数回答
※FA：自由回答

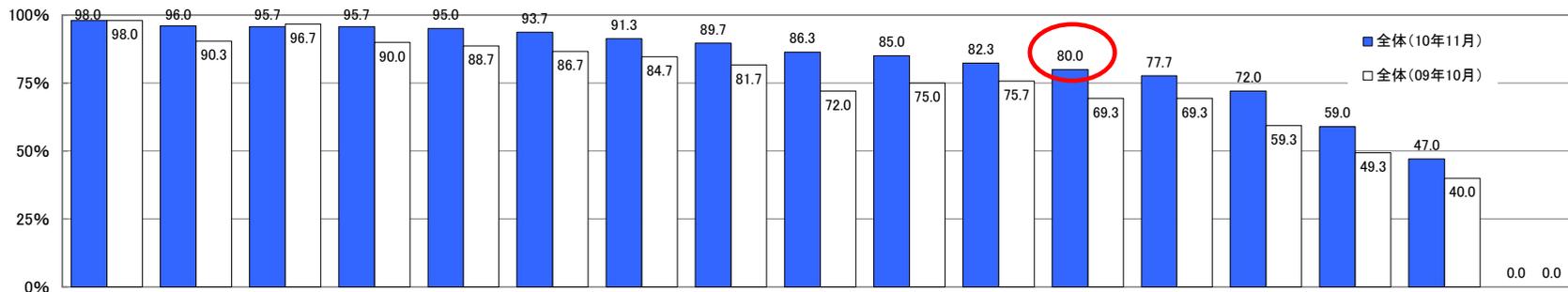
「ジェネリック医薬品」の特徴認知

Q1.「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選び下さい。(MA)

主要項目は高い水準をキープ。

多くの項目で、前回よりスコアアップしており、90%以上の項目が7項目となった。

製剤工夫についての認知は10pt以上アップし、80.0%となった。



(%)	N	新薬の特許期間満了後に発売される薬	薬価は新薬の2〜7割	お医者さんから処方される薬(医療用医薬品)	新薬と同じ主成分・同等の効き目	患者さん個人の自己負担額の軽減につながる	国全体の医療費節減につながる	生物学的同等性試験及び有効性安全性を確認	抗生物質・循環器用剤・薬効群で展開	日本ではまだ20%程度しか使用されていない	製品の品質は厚生労働省の承認済み	「ジェネリック医薬品」の使用促進は政府の「骨太方針」になっている	製剤工夫がされている	欧米諸国の多くでは医療用医薬品の約50%のシェア	数量ベースとして2012年までに国の方針として30%を目標	生物学的同等性試験の間による方法は90%信頼区間	WHOが使用促進を提唱	ひとつも知らない
全体(09年10月)	300	98.0	90.3	96.7	90.0	88.7	86.7	84.7	81.7	72.0	75.0	75.7	69.3	69.3	59.3	49.3	40.0	0.0
全体(10年11月)	300	98.0	96.0	95.7	95.7	95.0	93.7	91.3	89.7	86.3	85.0	82.3	80.0	77.7	72.0	59.0	47.0	0.0
病院・診療所	100	97.0	96.0	97.0	96.0	92.0	90.0	90.0	89.0	84.0	82.0	78.0	76.0	73.0	61.0	58.0	49.0	0.0
保険薬局	200	98.5	96.0	95.0	95.5	96.5	95.5	92.0	90.0	87.5	86.5	84.5	82.0	80.0	77.5	59.5	46.0	0.0
「ジェネリック医薬品」積極活用派	110	98.2	99.1	95.5	100.0	97.3	97.3	95.5	93.6	89.1	91.8	89.1	87.3	87.3	76.4	66.4	53.6	0.0
「ジェネリック医薬品」患者判断派	139	97.8	94.2	96.4	92.8	93.5	91.4	90.6	87.1	85.6	83.5	78.4	73.4	71.9	71.2	56.8	43.2	0.0
「ジェネリック医薬品」消極派・不採用派	51	98.0	94.1	94.1	94.1	94.1	92.2	84.3	88.2	82.4	74.5	78.4	82.4	72.5	64.7	49.0	43.1	0.0

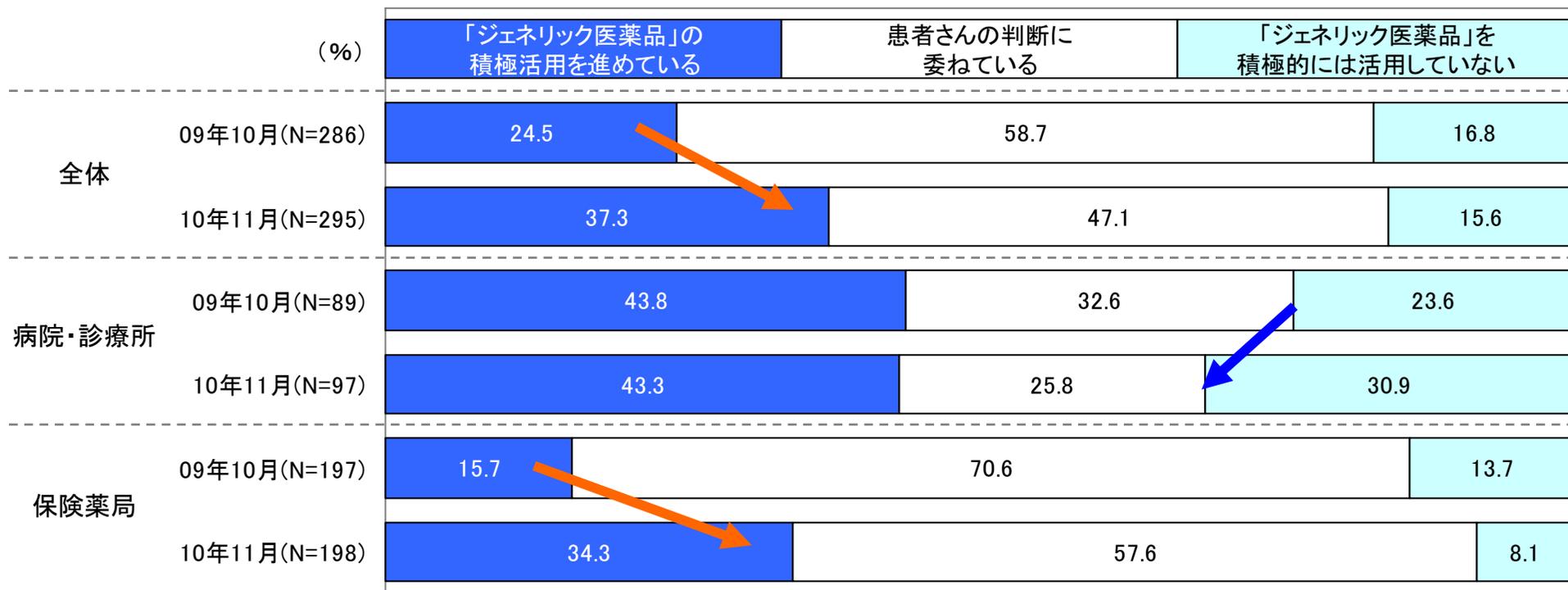
* N数は10年11月調査

※オレンジセルは全体より10pt以上、青色セルは全体より10pt以下

「ジェネリック医薬品」の活用方針（ジェネリック医薬品採用者に対して）

Q2. あなたのお勤め先では、「ジェネリック医薬品」の積極的活用を進められていますか。(SA)

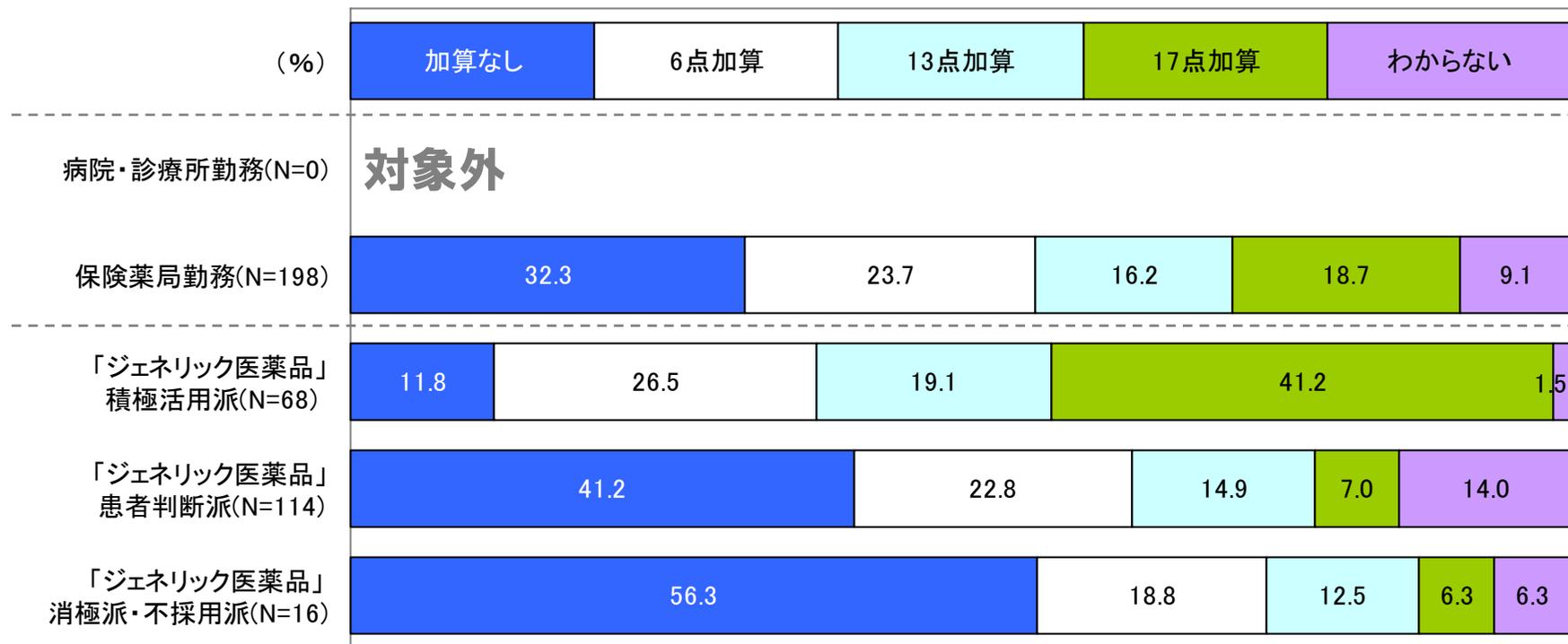
「積極活用を進めている」は全体の37.3%。保険薬局では大幅にアップし、34.3%となった。
一方、病院・診療所では、「積極的には活用していない」が増加。



「後発医薬品調剤体制加算点数」取得状況（保険薬局勤務者）

Q3. あなたのお勤め先の薬局が、現時点で取得している「後発医薬品調剤体制加算」は何点ですか。（SA）

「加算なし」で最も多く32.3%、次いで「6点加算」が23.7%、「17点加算」が18.7%、「13点加算」が16.2%となっている。
積極活用派では、「17点加算」が41.2%にのぼる。

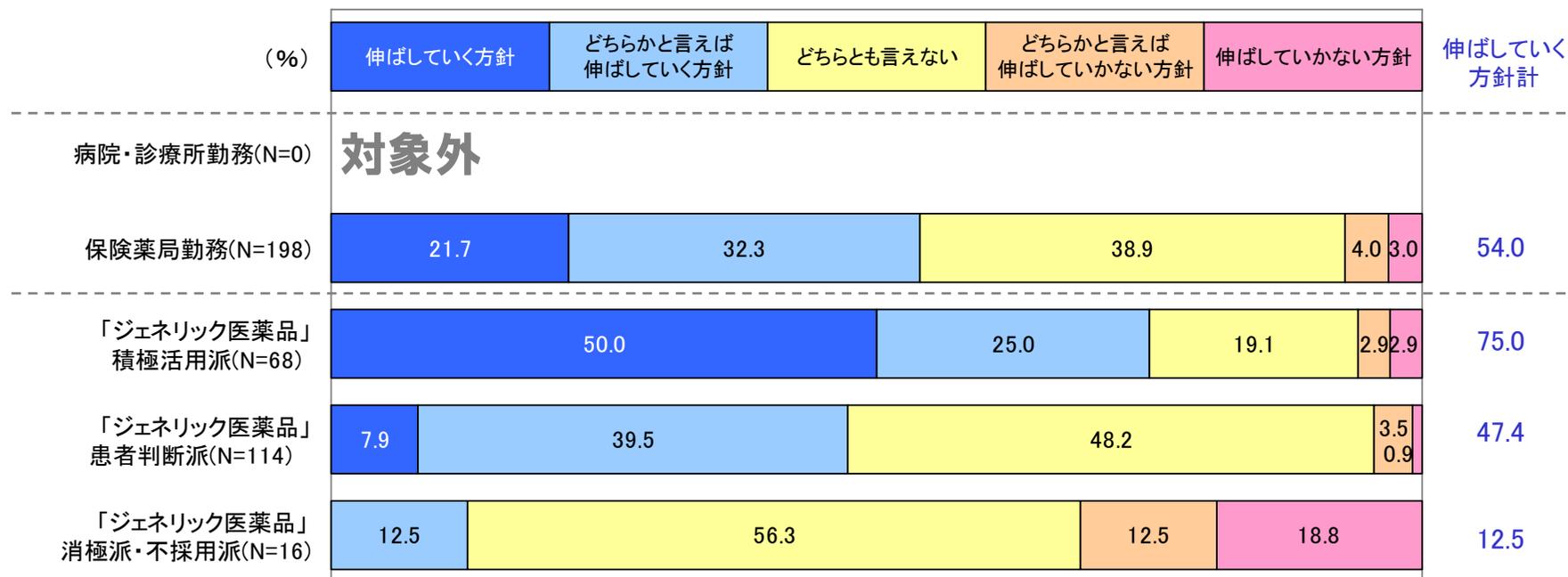


※「ジェネリック医薬品」消極派・不採用派は、サンプル数が少ないため参考値

「後発医薬品調剤体制加算点数」取得方針（保険薬局勤務者）

Q4. あなたのお勤め先の薬局では、「後発医薬品調剤体制加算」の加算点数を、今後さらに伸ばしていく方針はありますか。（SA）

保険薬局全体で「伸ばしていく」が21.7%、
「どちらかと言えば伸ばしていく」を加えると、計54.0%が伸ばしていく方針となっている。
積極活用派においては、75.0%が伸ばす方針と回答している。

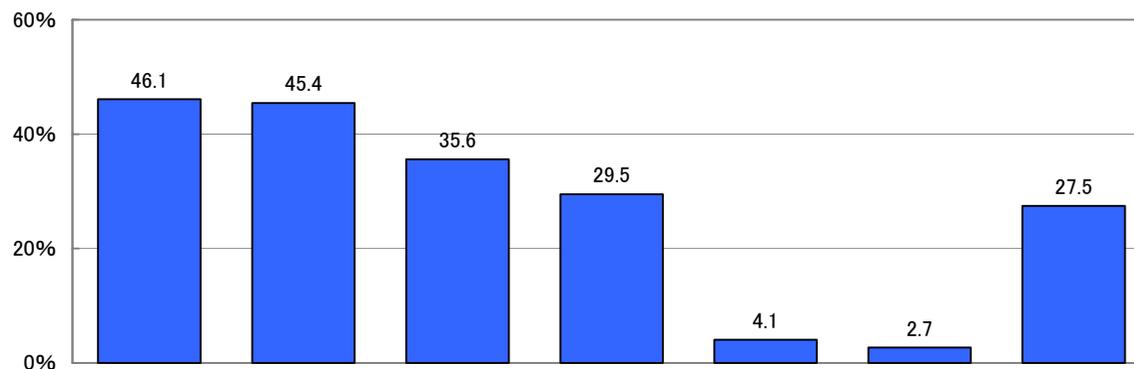


※「ジェネリック医薬品」消極派・不採用派は、サンプル数が少ないため参考値

「ジェネリック医薬品」啓発のための工夫

Q5. あなたのお勤め先では、「ジェネリック医薬品」啓発のための工夫を何かされていますか。(MA)

「薬剤師が直接意向を確認」「啓発ポスターを掲示」の2項目が45%以上で高くなっている。
 病院・診療所では、「特に何もしていない」が57.7%で最も高くなっている。



(%)	N	薬剤師が直接意向を確認	啓発ポスターを掲示	問診票で意向を確認	啓発パンフレットを配置	啓発映像を放映	その他	特に何もしていない
全体	295	46.1	45.4	35.6	29.5	4.1	2.7	27.5
病院・診療所勤務	97	12.4	14.4	12.4	9.3	2.1	4.1	57.7
保険薬局勤務	198	62.6	60.6	47.0	39.4	5.1	2.0	12.6
「ジェネリック医薬品」積極活用派	110	60.0	56.4	35.5	38.2	9.1	5.5	15.5
「ジェネリック医薬品」患者判断派	139	48.2	48.2	46.8	28.8	1.4	0.7	19.4
「ジェネリック医薬品」消極派・不採用派	46	6.5	10.9	2.2	10.9	0.0	2.2	80.4

※オレンジセルは全体より10pt以上、青色セルは全体より10pt以下

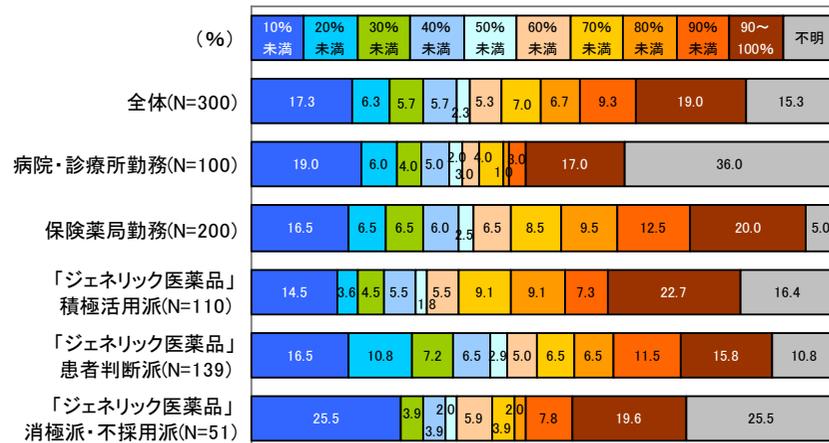
変更可能処方せんの取り扱い状況と対応状況

Q6. ここ最近1ヶ月以内に応需した処方せんのうち、「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない
(医師のサインのない)処方せんはだいたいどのくらいでしたか。(SA)
また、「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない(医師のサインのない)処方せんのうち、
実際に「ジェネリック医薬品」に変更になった割合はだいたいどれくらいでしたか。(SA)

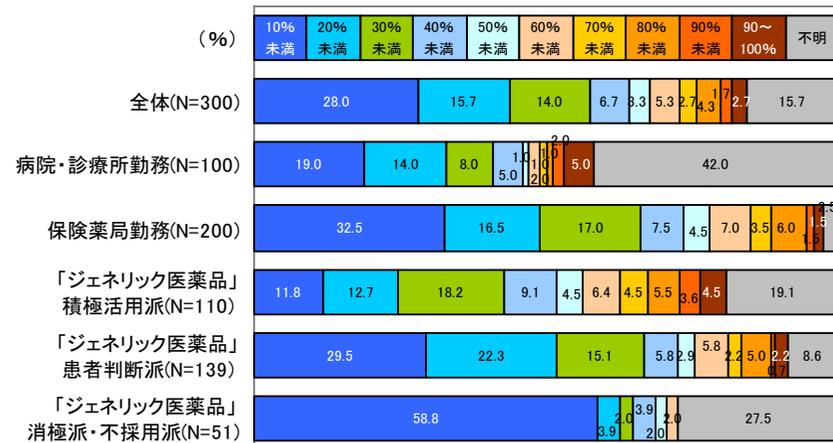
「変更可能な処方せん割合」は変わらないものの、「変更可能な処方せんをジェネリック医薬品に変更した割合」が高まっていることから、「実際にジェネリック医薬品に変更になった割合」は14.4%で前回から3.2pt増加している。

(%)	変更可能な 処方せんの 割合平均	×	変更可能な処方せんを 「ジェネリック医薬品」に 変更した割合	=	実際に 「ジェネリック医薬品」に 変更した割合
全体	52.8%	×	27.2%	=	14.4%
病院・診療所勤務	45.6%	×	27.9%	=	12.7%
保険薬局勤務	55.3%	×	27.0%	=	14.9%
「ジェネリック医薬品」積極活用派	58.2%	×	37.4%	=	21.7%
「ジェネリック医薬品」患者判断派	49.8%	×	25.1%	=	12.5%
「ジェネリック医薬品」消極派・不採用派	49.7%	×	10.1%	=	5.0%
参考：09年10月調査	52.5%		21.3%		11.2%
参考：08年10月調査	48.1%		20.6%		10.5%

【変更可能な処方せん割合】



【変更可能な処方せんを「ジェネリック医薬品」に変更した割合】



変更可能な処方せんへの対応～説明の有無～

Q7. 「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない(医師のサインのない)処方せんの場合、あなたやあなたのお勤め先では、患者さんに対し、「ジェネリック医薬品」についての説明を行っていますか。ここ最近1ヶ月以内についてお答えください。(MA)

「患者さんから尋ねられたら説明している」が48.3%でトップだが、前回よりやや低下し、「常に説明している」「備蓄しているものは説明している」が増加傾向となっている。



(%)	N	常に説明している	患者さんから尋ねられたら説明している	備蓄しているものは説明している	高額の変更の医薬品や、負担が大きく減るものは説明している	説明時間に余裕のあるときは説明している	説明はしていない
全体(08年10月)	300	14.3	51.0	21.7	17.3	12.7	22.3
全体(09年10月)	300	16.7	51.7	22.3	18.3	10.7	21.7
全体(10年11月)	300	19.3	48.3	28.0	18.7	18.3	18.0
病院・診療所	100	13.0	37.0	8.0	5.0	4.0	48.0
保険薬局	200	22.5	54.0	38.0	25.5	25.5	3.0
「ジェネリック医薬品」積極活用派	110	29.1	34.5	30.0	13.6	18.2	17.3
「ジェネリック医薬品」患者判断派	139	15.8	64.0	36.0	28.8	20.1	7.2
「ジェネリック医薬品」消極派・不採用派	51	7.8	35.3	2.0	2.0	13.7	49.0

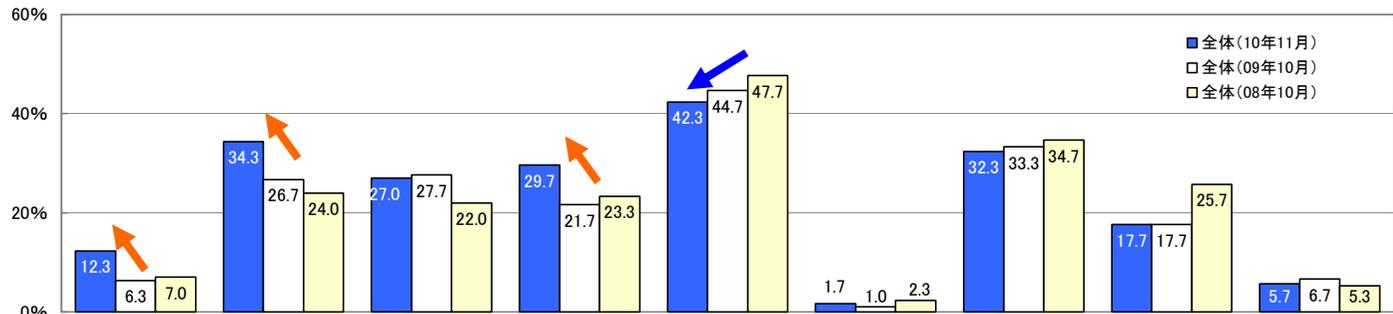
* N数は10年11月調査

※オレンジセルは全体より10pt以上、青色セルは全体より10pt以下

変更可能な処方せんへの対応

Q8. 「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない(医師のサインのない)処方せんの場合、あなたやあなたのお勤め先ではどのような対応をとっておられますか。あてはまるものを全てお答えください。(MA)

前回同様、「患者さんから尋ねられたら説明して選んでもらう」が42.3%でトップだが、前回よりやや下がり「なるべく勧める」「備蓄しているものは勧める」「情報提供し、患者さんに選んでもらう」が増加している。



(%)	N	なるべく「ジェネリック医薬品」を勧める	「ジェネリック医薬品」を勧める	高額の医薬品や、変更することによって負担金が大きく減るものは、「ジェネリック医薬品」を勧める	「ジェネリック医薬品」の意味や、新薬との違いに関する情報を提供し、患者さんに選んでもらう	患者さんから尋ねられたら、「ジェネリック医薬品」の意味や、新薬との違いに関する情報を提供し、患者さんに選んでもらう	なるべく新薬を勧める	取り寄せに時間がかかる場合は、次回からの切り替えにする	何もせず、これまで通りの薬を調剤する	その他
全体(08年10月)	300	7.0	24.0	22.0	23.3	47.7	2.3	34.7	25.7	5.3
全体(09年10月)	300	6.3	26.7	27.7	21.7	44.7	1.0	33.3	17.7	6.7
全体(10年11月)	300	12.3	34.3	27.0	29.7	42.3	1.7	32.3	17.7	5.7
病院・診療所	100	12.0	15.0	10.0	11.0	17.0	1.0	8.0	44.0	14.0
保険薬局	200	12.5	44.0	35.5	39.0	55.0	2.0	44.5	4.5	1.5
「ジェネリック医薬品」積極活用派	110	22.7	48.2	25.5	34.5	31.8	0.9	30.9	15.5	9.1
「ジェネリック医薬品」患者判断派	139	6.5	33.1	36.0	33.8	57.6	0.7	41.0	11.5	0.7
「ジェネリック医薬品」消極派・不採用派	51	5.9	7.8	5.9	7.8	23.5	5.9	11.8	39.2	11.8

*N数は10年11月調査

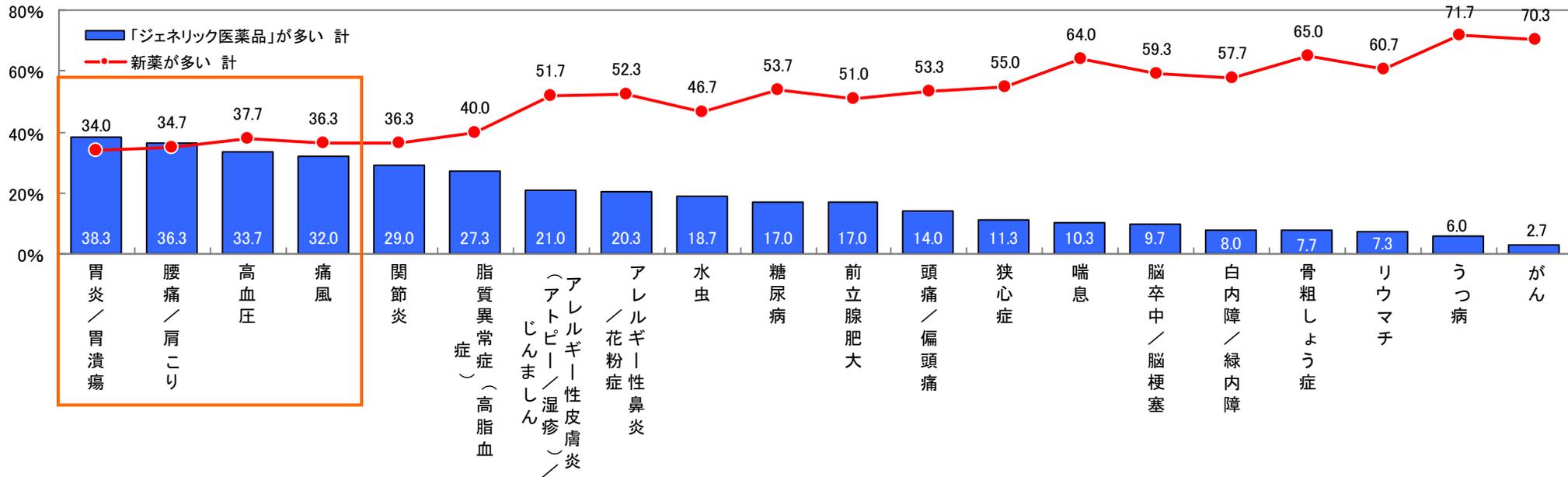
※オレンジセルは全体より10pt以上、青色セルは全体より10pt以下

「ジェネリック医薬品」を調剤することの多い疾患（全体対象）

Q9. 「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない（医師のサインのない）処方せんの場合、以下に挙げた疾患の薬について、「ジェネリック医薬品」を調剤することと、新薬を調剤することの、どちらが多いですか。（SA）

「ジェネリック医薬品」を調剤することの多い疾患は、
全体では「胃炎／胃潰瘍」「腰痛／肩こり」「高血圧」「痛風」が30%以上で高くなっている。

【全体(N=300)】

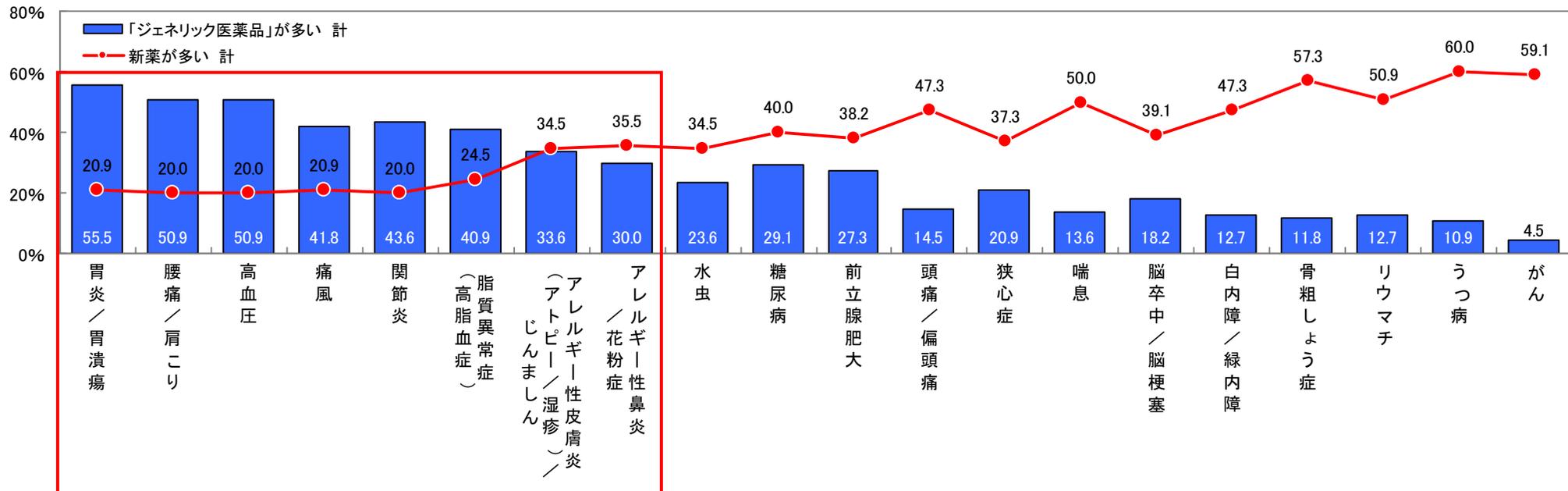


「ジェネリック医薬品」を調剤することの多い疾患（「ジェネリック医薬品」積極活用派対象）

Q9. 「ジェネリック医薬品」への変更が「不可」となっていない（医師のサインのない）処方せんの場合、以下に挙げた疾患の薬について、「ジェネリック医薬品」を調剤することと、新薬を調剤することの、どちらが多いですか。（SA）

「ジェネリック医薬品」を調剤することの多い疾患は、積極活用派においては、「胃炎／胃潰瘍」「腰痛／肩こり」「高血圧」「痛風」に加え、「関節炎」「脂質異常症」「アレルギー性皮膚炎／じんましん」「アレルギー性鼻炎／花粉症」が30%以上で高くなっている。疾患によっては、前頁の全体対象より約1.5倍もの値となっている。

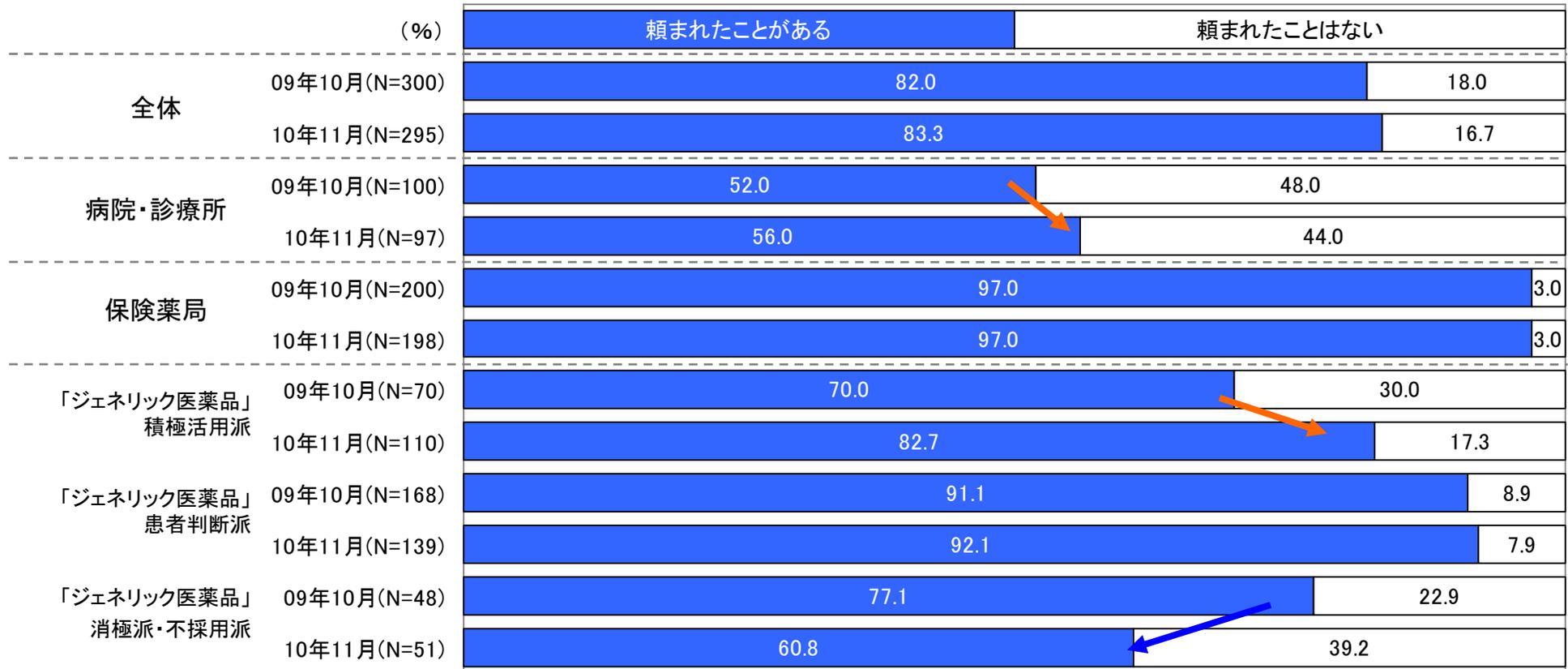
【「ジェネリック医薬品」積極活用派(N=110)】



「ジェネリック医薬品」を調剤(処方)依頼された経験

Q10. 2008年4月以降、患者さんから「ジェネリック医薬品を調剤(処方)して欲しい」と頼まれたことはありますか。(SA)

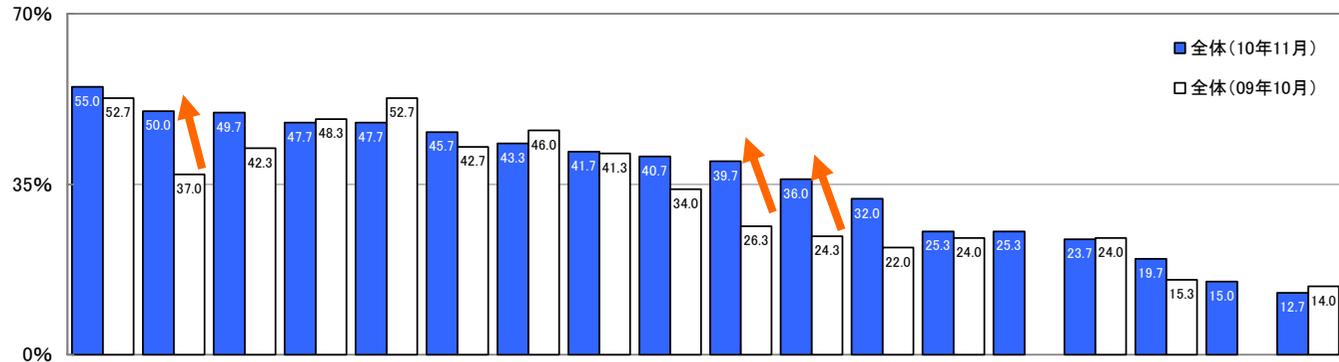
依頼された経験は、83.3%で前回より1.3ptの微増。病院・診療所でのスコアが4.0ptと比較的大きくアップしている。
消極派・不採用派では頼まれた経験が6割に留まり、前回より大きく下がっている。



「ジェネリック医薬品」が普及するために必要なこと

Q11. 今後、「ジェネリック医薬品」が普及していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(MA)

前回と比較して「ジェネリック医薬品メーカーに対する信頼感」(50.0%)、「国が使用を促進する制度に取り組む」(39.7%)、「大学病院など大病院が採用する」(36.0%)の3項目が大幅にポイントを伸ばしている。



(%)	N	安定供給できる体制を「ジェネリック医薬品」メーカーが整える	信頼感が上がる「ジェネリック医薬品」メーカーに対する	医師が「ジェネリック医薬品」に対する理解を深める	より高品質な製品の開発・製造に取り組む	在庫問題などを解決するため、薬局の地域連携体制を整える	国が「ジェネリック医薬品」の品質を保証する	利益を確保できる薬価制度の導入	「ジェネリック医薬品」メーカーからの情報提供を充実させる	患者さんが「ジェネリック医薬品」のことを知るようになる	国が使用を促進する制度に取り組む	大学病院など大病院が採用する	国が国民に対する啓発活動に取り組む	医師や薬剤師が患者に説明しやすい体制(パンフレットやツール等)が充実する	「ジェネリック医薬品」の薬価の大幅な改定	薬剤師が「ジェネリック医薬品」に対する理解を深める	企業の健保組合や地域行政が積極的に使用促進に取り組む	製薬メーカーの再編・統合	その他
全体(09年10月)	300	52.7	37.0	42.3	48.3	52.7	42.7	46.0	41.3	34.0	26.3	24.3	22.0	24.0	25.3	24.0	15.3		14.0
全体(10年11月)	300	55.0	50.0	49.7	47.7	47.7	45.7	43.3	41.7	40.7	39.7	36.0	32.0	25.3	25.3	23.7	19.7	15.0	12.7
病院・診療所	100	49.0	43.0	35.0	40.0	31.0	37.0	37.0	40.0	22.0	33.0	28.0	22.0	19.0	22.0	17.0	12.0	18.0	13.0
保険薬局	200	58.0	53.5	57.0	51.5	56.0	50.0	46.5	42.5	50.0	43.0	40.0	37.0	28.5	27.0	27.0	23.5	13.5	12.5
「ジェネリック医薬品」積極活用派	110	57.3	49.1	52.7	49.1	51.8	50.9	42.7	39.1	46.4	53.6	43.6	40.0	25.5	26.4	30.0	28.2	18.2	10.9
「ジェネリック医薬品」患者判断派	139	54.7	50.4	52.5	46.0	49.6	43.2	43.9	44.6	43.9	37.4	33.8	32.4	28.8	25.9	23.0	18.0	10.1	10.1
「ジェネリック医薬品」消極派・不採用派	51	51.0	51.0	35.3	49.0	33.3	41.2	43.1	39.2	19.6	15.7	25.5	13.7	15.7	21.6	11.8	5.9	21.6	23.5

*N数は10年11月調査

※オレンジセルは全体より10pt以上、青色セルは全体より10pt以下

「国の医療費増大」の問題に対する危機感

Q12. 最近、新聞やテレビなどで「国の医療費増大」による皆保険制度の是非や、企業健保組合の赤字などの問題がクローズアップされていますが、あなたはこの「国の医療費増大」の問題について危機感を感じますか？(SA)

全体の45.0%が「とても感じる」と答えており、「少し感じる」を含めると、87.0%となっている。
また、積極活用派の方が、危機意識が高くなっている。

